

はじめに

「ワクチン Pro」のご利用ありがとうございます。

本作品は Claris FileMaker（以下 FileMaker）のカスタムアプリです。作成者は小児科開業医での 25 年間で、様々な 医療業務をデジタル化した電子ルテを FileMaker で作成していました。「医療のデジタル化」を目指す人のお役に立てればと願い、ワクチン部門を分離しました。分離前から発注納品、予約、当日接種ロット記入、Web 上の予約画面作成、様々なメール配信、月々の公費請求書作成に至るまでほとんどの作業をデジタル化していました。ワクチン Pro は、それを汎用化してセッティングしやすくしています。

何より、ノンプログラミングあるいはロープログラミングで特別なプログラム言語の不要な日本語での FileMaker を使用していますので、日本語で発展させることができます。クリニック間の物理的な環境での業務工程の変更、地域間で変化の激しい公費請求など各医療機関で異なる医療のデジタル化の壁が FileMaker を用いることにより、独自開発できるようになります。ワクチン Pro は各医療機関でのカスタマイズが可能です。もともと作者は初心者から作っていますので直感的でわかりやすい構造となっています。

最初のみ少し複雑さは感じるかも知れませんが、ちょっと面倒なセットアップさえ終わればワクチン業務が楽しい業務となることでしょう。私のクリニックではスタッフがほぼ独立して操作して、ほとんど医師の手を煩わさなくなったアプリケーションですので、スタッフの間でも短時間で習得し実際の業務が出来るものと確信しています。開業医時代には外来で時間 40～50 人でも安全に 1 人もミス無く出来たアプリです。

昨今の新型コロナの流行でますますワクチンの重要さが際立っています。小児科のみならず、内科などの大人を扱う科でも医療の重要なサービスの 1 部門として提供体制を構築する必要があります。また**デジタル化し、対象人数を広げることによりすることにより、医療機関の大きな収入源としていくことも出来ます。**ぜひ、ワクチン Pro をあなた自身の医療機関のデジタル化の第一歩にしていきたいと思います。

ホスティングサービス(FileMaker 専用)の利用にしますか？自力で運営しますか？

ネット環境を作ったことのない方

ワクチン Pro を初期は簡単に扱う様にするため、ホームページ運営の経験が無い方は、ホスティングサービスの利用をお勧めします。

ネット環境を自前で作れる方

自院ですでにサーバがあり、ホームページや電子カルテを独自ドメインで利用している場合やファイルメーカーのデベロッパーにお任せする場合は是非ともオンプレミスで利用してください。オンプレミス上はインターネットを挟まないためワクチン Pro を最も高速で利用出来ます。

その際には、◎クラウドあるいはオンプレミスでのホームページなどのシステムを構築済みあるいはその技術に精通している。◎ファイルメーカーサーバーを立ち上げ運用していく、時間あるいは技量があること。が必要です ※オンプレミスとは、自社内でサーバやソフトウェアなどの情報システム設備を設置し、自分たちで運用することを指します。

ワクチン Pro は、メール配信や Web の受診予約機能などを、操作に慣れてからにしても充分 クチン業務を取り扱える機能を持っています。使用当初はイントラネット（院内のネットワーク）のみで使って、将来的にインターネットと繋げてオンプレミスに発展させるのが最もお勧めです。

ファイルメーカーにまだ不慣れな方、あるいはそこまで時間をさけない人には、自力運用はおすすめしません。そのためネット上の事は専門の会社にお任せする前者のファイルメーカーホスティングサービスに任せて、簡単な基本ソフトであるファイルメーカーに集中してください。自力運用は時間とお金を必要とします。また、長年にわたる根気の必要な運営になります。ファイルメーカーは特別なプログラミングを必要としない一般に優しいソフトです。ので、ファイルメーカーを利用するだけであれば今日からあなた自身で、仕事をデジタル化いくことができます。その一歩としてワクチン Pro がお役に立てれば私もこの上無いことです。

第1章 サーバの準備

ホスティングサービスを利用する方法

ワクチン Pro ではメールの送受信をサーバーサイドで行うため、ファイルメーカーのプラグインを使用しています。現在、クラリス社が扱っている **FileMaker Cloud** ではプラグイン自体利用出来ませんのでクラウドでご利用の場合は、その他の商用の **FileMaker** のホスティングサービス を利用してください。

例としてホスティングの会社(株式会社ユニティップス)で最も低価格の「FMHost ライトプラス」 を利用し試運転してみましょう。取り扱う患者の数や従業員のファイルメーカーを使用する数 によりコースのアップグレードを考えてください。サーバーコースのアップ自体はすぐにはしてくれるようです。運営費として最低限の次の費用がかかります。サーバーライセンスとして下記にて導入可能で、ワクチン名人を扱う運営側としてユーザーライセンスも5名が付いてきます。

FileMaker Server ユーザーライセンス価格 (5ユーザー)	年間 96,000円 (月額換算 8,000円)
---	--------------------------

FMHost「ライト」「ライトプラス」はサーバーのスペックが小さいため、3週間～1ヶ月に1度のサーバーダウンがあるようです。そのときはファイルメーカーサーバーの再起動をホスティング会社をお願いしてください。(2021年2月現在は週1回の再起動がこちらの都合に合わせて出来るようになっています。本稼働時にはエントリー以上、あるいは他者のサービスを考慮してください。クラウドのスペックは必要に応じて短時間で変更してもらえます。

ワクチン Pro は患者登録や情報提供サイトはサーバーサイドスクリプトを利用して、ほぼ自動で運営を行うことが出来ます。具体的にはマニュアルで後述しますが、患者情報の登録変更、予防接種の予約、ワクチンの履歴や予定を見るといった機能があります。そのため、ある程度の同時接続の数が必要ですが、クリニックレベルでの運営なら同時接続ライセンスとして5名あったら充分でしょう。

回線の種類についてですが、クライアントの環境では ADSL 回線ではなく光回線を勧めます。

例として FMHost プライベート「ライトプラスタイプ」を利用

<https://fmhost.jp/> で「ご利用までの流れ」をクリック(次ページ)にて「ライトプラス」の無料トライアルコースを選択していきます。会社の HP に沿って進めていきましょう。
(図)



上記の申し込み後に、サイトの準備が出来たことを知らせるメールが来ます。(図)

=====

■ FileMaker Server 接続情報

Admin Console 接続URL : [https://\[redacted\].fmhost.jp:16000/admin-console](https://[redacted].fmhost.jp:16000/admin-console)

< Admin Console 初期ログイン情報 > ※ログイン後ご変更お願いいたします。

名前 : fmhostuser.[redacted]

パスワード : fmhostuser.[redacted]

ご利用方法につきましては、ユーザガイド (<https://fmhost.jp/guide/start/>) を
ご確認いただければ大丈夫かと思いますが、ご不明点がございましたら
お気軽にご連絡いただけますようお願い申し上げます。

FileMaker Pro や FileMaker Go からホストしたファイルを開くときのネットワークファイルパス
fmnet/fmhp273.fmhost.jp/{ホストしたファイル名}}

WebDirect でアクセスする時のURL (※高負荷機能のためライトプラスではWebDirectを標準オフにしております。)

[https://\[redacted\].fmhost.jp/fmi/webd](https://[redacted].fmhost.jp/fmi/webd)

カスタムWeb等で外部のサーバーからXMLリクエストを行う場合のホスト名

[https://\[redacted\].fmhost.jp](https://[redacted].fmhost.jp)

=====

■ FTP接続情報

プロトコル : FTP-SSL (Explicit AUTH TLS) もしくは FTP

ポート : 21

サーバー : [redacted].fmhost.jp

ユーザー : [redacted]

パスワード : [redacted]

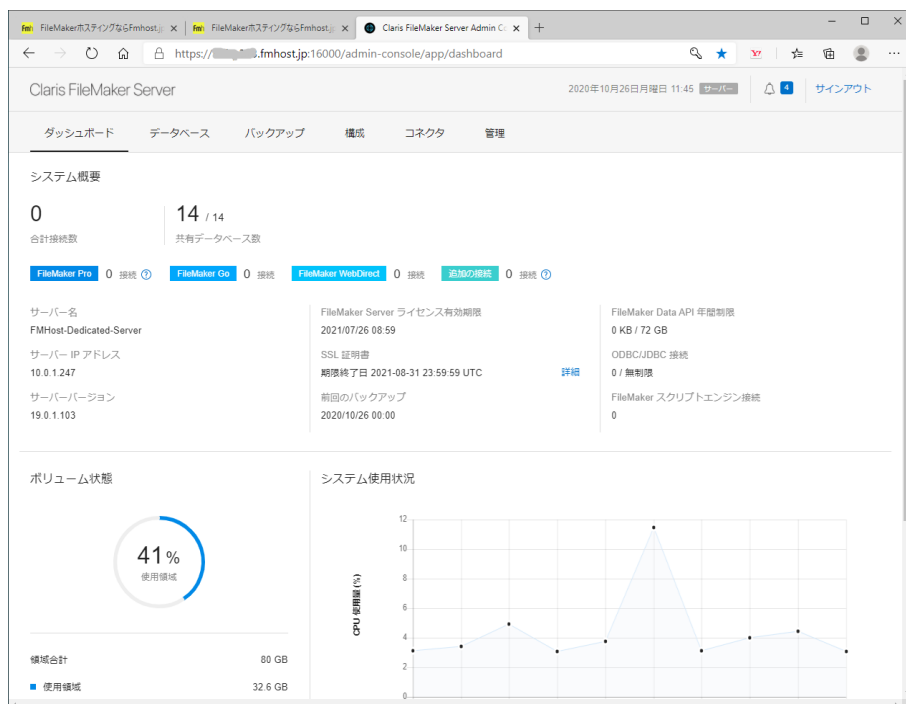
まず、ファイルメーカーサーバーの Admin Console を出してみましょう。メールに記載されている Admin Console 接続 URL に接続します。Admin Console 初期ログイン情報の名前とパスワードを入力します。詳しくは同サイトのユーザーガイドを見てください。(図)



サインイン

[パスワードのヘルプ](#)

あなたの Admin Console が出ました。(図)



Admin Console が立ち上がってパスワード変更などが終わってから、今度はワクチン Pro 独自の準備をします。患者がパスワードなしで Web のサイトに入れるようにします。コンソール画面はこちら側では操作できないため、ホスティング会社に連絡して「パスワードなしのファイルも公開できるように」してもらいます。(FMHost プライベートではコンソール作業は会社側でしか利用出来ません。)

オンプレミスなどでコンソールが使える場合は以下のコマンドを実行してください。
fmsadmin set serverconfig securefilesonly=false

自社サーバにて利用する方法（つまづきそうなポイントのみ）

Claris FileMaker Server を自分の医療機関で利用するにはククラリス社の Claris FileMaker Server 19 インストールおよび構成ガイドを参照してください。

<https://help.claris.com/ja/server-installation-configuration-guide/>

つまづきそうなポイントのみ2点あげておきます。

◎FileMaker Server のための Windows および macOS のファイアウォールの設定（以下のサイト参照）

[https://support.claris.com/s/article/FileMaker-](https://support.claris.com/s/article/FileMaker-Server-%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE-Windows-%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3-OS-X-%E3%81%AE%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%82%A2%E3%82%A6%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%AE%E8%A8%AD%E5%AE%9A-1503693091222?language=ja)

[Server-%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE-](https://support.claris.com/s/article/FileMaker-Server-%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE-Windows-%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3-OS-X-%E3%81%AE%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%82%A2%E3%82%A6%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%AE%E8%A8%AD%E5%AE%9A-1503693091222?language=ja)

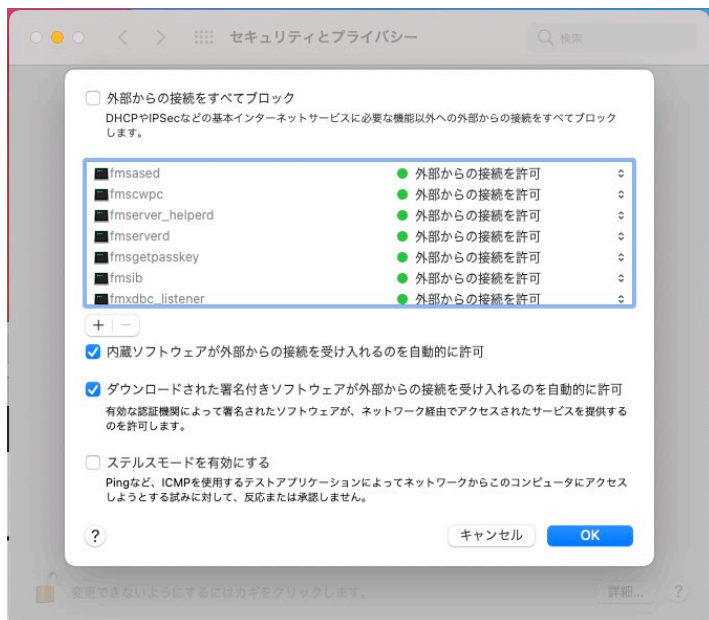
[Windows-%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3-OS-](https://support.claris.com/s/article/FileMaker-Server-%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE-Windows-%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3-OS-X-%E3%81%AE%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%82%A2%E3%82%A6%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%AE%E8%A8%AD%E5%AE%9A-1503693091222?language=ja)

[X-%E3%81%AE%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%82%A2%E3%82%A6%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%AE%E8%A8%AD%E5%AE%9A-](https://support.claris.com/s/article/FileMaker-Server-%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE-Windows-%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3-OS-X-%E3%81%AE%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%82%A2%E3%82%A6%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%AE%E8%A8%AD%E5%AE%9A-1503693091222?language=ja)

[1503693091222?language=ja](https://support.claris.com/s/article/FileMaker-Server-%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE-Windows-%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3-OS-X-%E3%81%AE%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%82%A2%E3%82%A6%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%AE%E8%A8%AD%E5%AE%9A-1503693091222?language=ja)

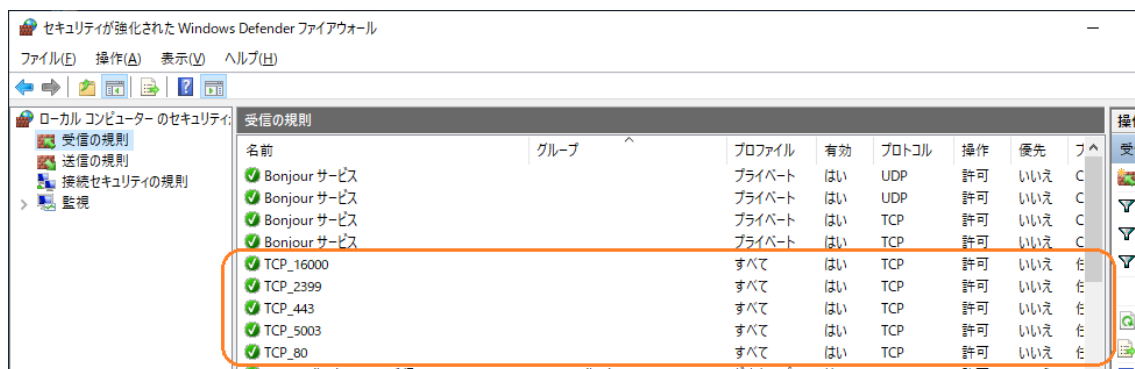
<MacOS>

環境設定>セキュリティーとプライバシー>ファイアウォール のファイアウォールオプションで fmsased fmscwpc fmserver_helperd fmserverd fmsgetpasskey fmsib fmxdbc_listener を追加する(図)



<WinOS>

コントロールパネル¥すべてのコントロールパネル項目¥Windows Defender ファイアウォール の詳細項目の受信の規則で「80, 443, 2399, 5003, 16000」の TCP ポートを開く(図)



◎オンプレミス時のルータの設定

外部接続のルータにて静的マスカレードを図のように https、5003、16000 を FileMaker Server のローカルアドレスに送るよう設定してください。(図)

オンプレミス時のルーターの設定

ワクチンPro
 2021-04-03
 FileMaker
 0

オンプレミスでClarix FileMaker Serverを運営するときに忘れがちなルーターの設定を書き残します。

NetVolante NVR500の「静的IPマスカレード」関連です。

静的IPマスカレード関連(フィルタの自動定義：80番～94番)

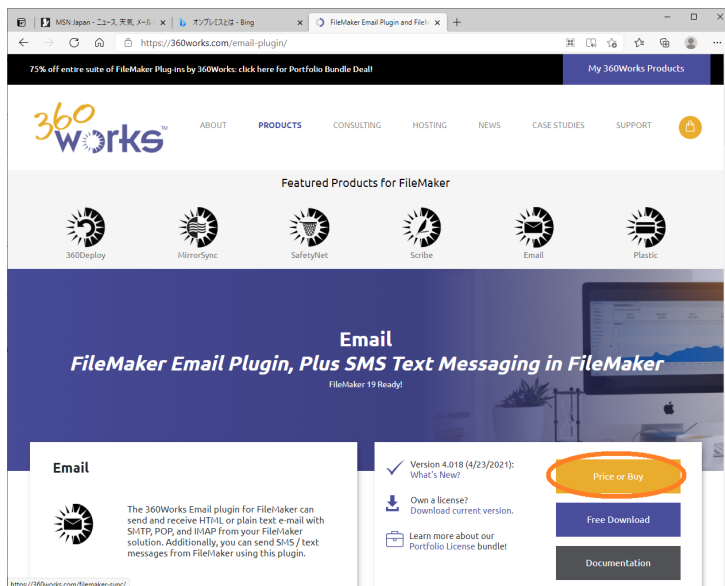
番号	プロトコル	ポート	使用ホストIPアドレス	削除
1	tcp			☐
2	gre			☐
3	tcp	www		☐
4	tcp	https	192.168. Serverの	☐
5	tcp	5003	192.168. local address	☐
6	tcp	16000	192.168. local address	☐

上記のようにHTTPS、FileMaker Pro および FileMaker Go クライアント用の5003番ポート、Admin Console へのリモートアクセス用の16000番ポートはClarix FileMaker Serverが作動しているローカルアドレスにマスカレードする必要があります。

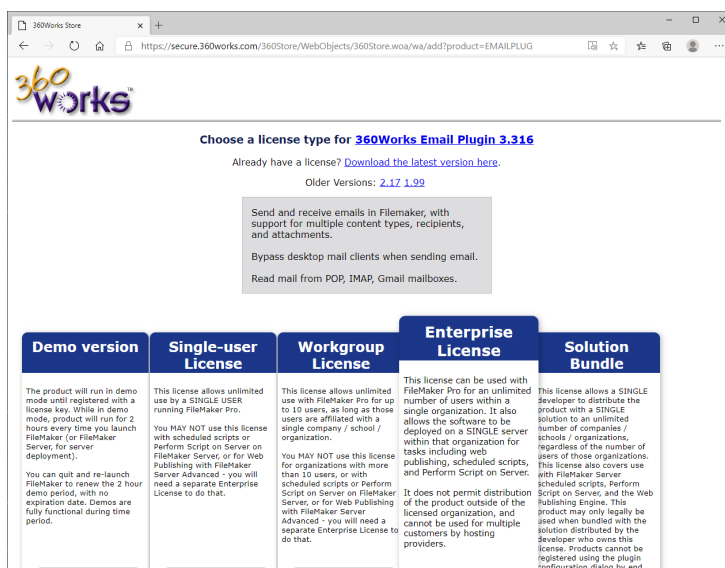
メール送受信は 360 Works 社のプラグイン_360 Works Email_を利用

ワクチン Pro はメール送受信としてプラグインを利用しています。(FileMaker は標準 機能で電子メールの送信は可能なのですが、受信機能は搭載されていません。) Windows や Mac 双方で利用出来て、ファイルメーカーのアップデート時に対応の早い 360 Works のプラグイン (360 Works Email) を利用しています。360 Works Email の以下のサイト(図)

<https://360works.com/email-plugin/>

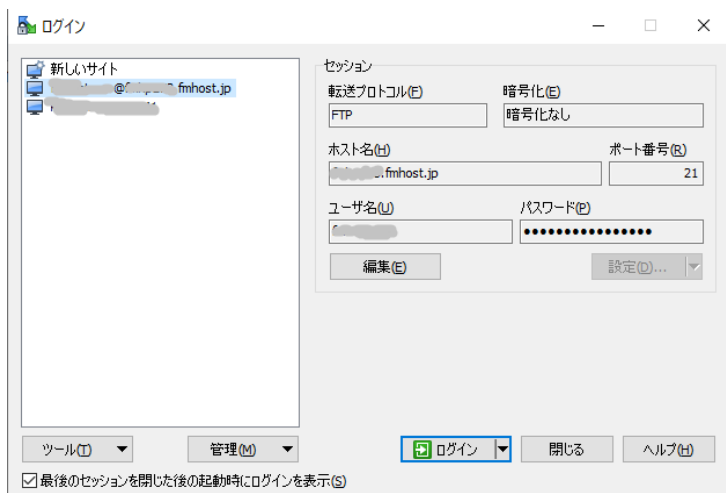


「Pricing or Download Demo」を押し、次の画面で Server で利用出来るように、「Enterprise License (この時点は 395 ドル)」を購入してください(図)

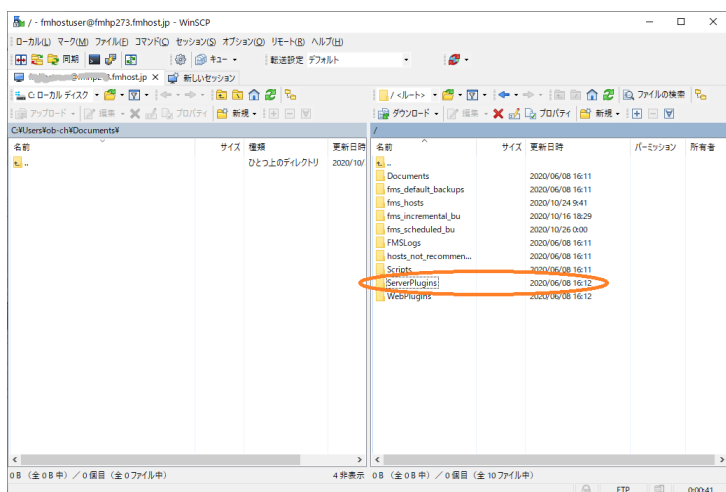


<ホスティングを利用の場合>

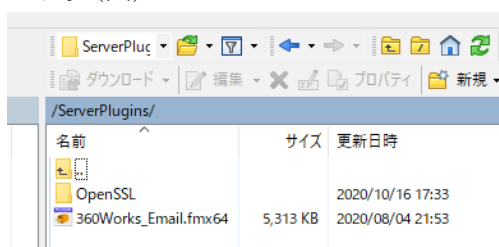
次にこのプラグインを FMHost に FTP にてセットアップします。ここでは WinSCP を使用しています。前述した申し込み後に送られてきた設定用のメール内容の FTP 用のサーバ名、アカウント、パスを入力します。(図)



画面が開いた所で、FMHost のサービス下 ServerPlugins フォルダを開きます。(図)



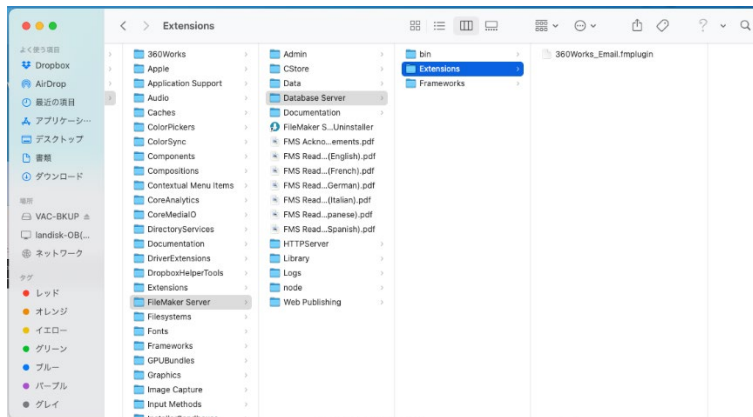
360Works_Email.fmx64 をアップロードしてください。(FMHost のクラウドのこのコースは Windows server on AWS を使用しています。)これでプラグインのセットアップは終了です。(図)



<オンプレミスを利用の場合>

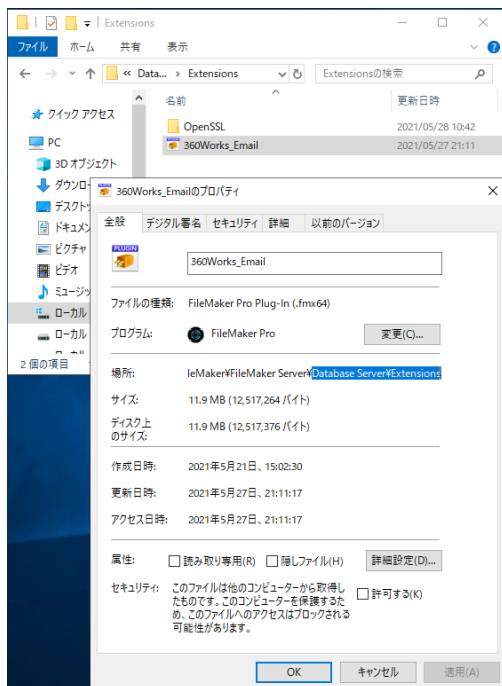
<MacOS>

/Library/FileMaker Server/Database Server/Extensions に .fmplugin file を入れます。(図)



<WinOS>

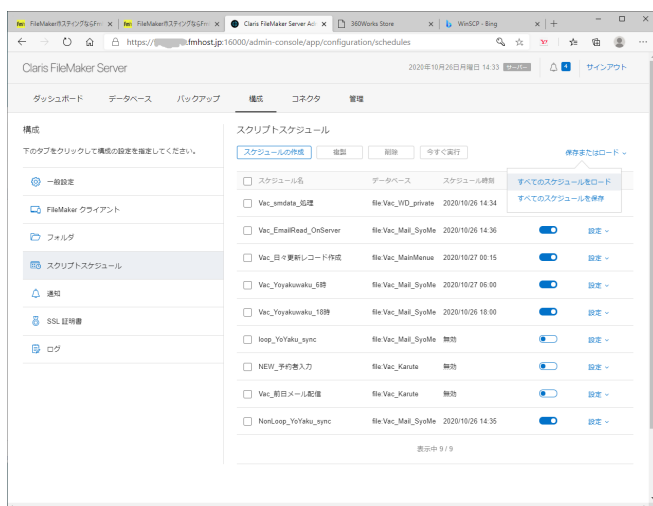
C:\Program Files\FileMaker\FileMaker Server\Database Server\Extensions に .fmx64 file を入れます。(図)



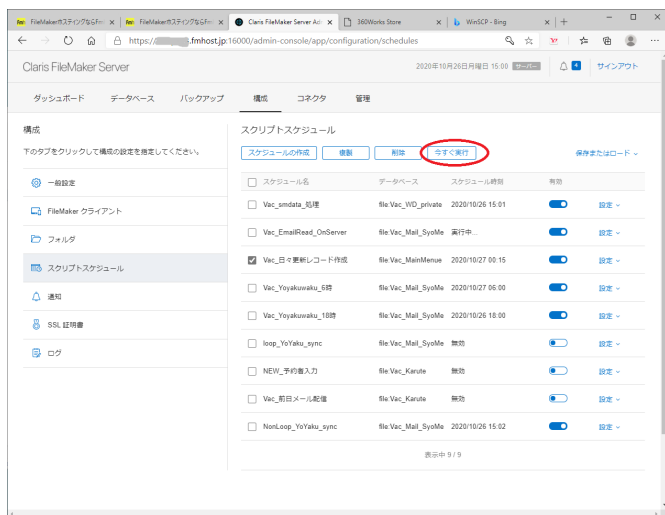
360works からもらった License Key と Registered To は後ほどわくちんのメニューでセ
ットします。

サーバのスケジュールをロードする。(添付の fms19_settings.settings)

スケジュールを作成します。Admin Console で構成>スクリプトスケジュール>保存またはロードの「すべてのスケジュールをロード」で、添付の fms19_settings.settings を選択してロード します。(図)※初期設定は完全アクセスとパスで設定しています。完全アクセス権のパスを変更する場合は、設定を記録して変更後にもう一度設定が必要です。(図)



アップしたところで本日分の「Vac_日々更新レコード作成」をチェックし「今すぐ実行」を押し、 本日用に各ファイルの更新をしておきます。(図) (未実行の場合はクライアント側で実行されます。)



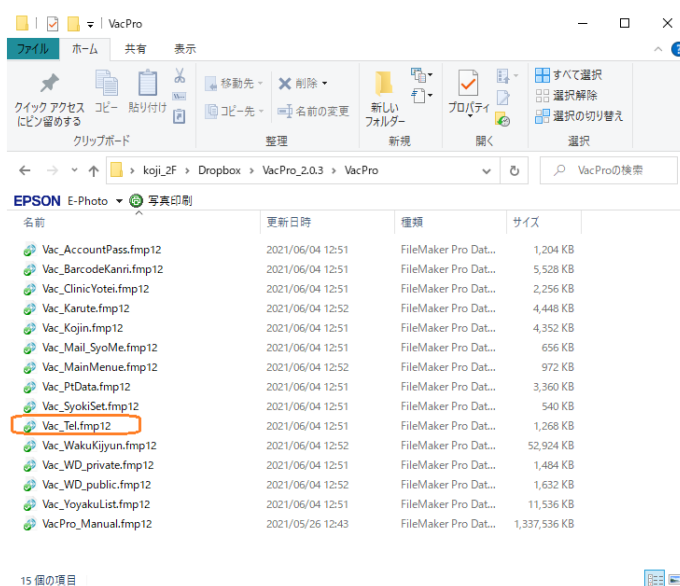
以上でサーバ自体のセッティングは終了です。

ワクチン Pro のファイルをサーバ内に準備する

次にクライアント側のパソコン(Windows でも Machintosh でも可能)に FileMaker Pro をインストールします。インストールの手順は Claris 社の手順を参照してください。

(ver 1.x.x) ファイルメーカーを開きます。ワクチン Pro の VacPro フォルダの図の 14 個のファイルを準備してください。

(ver 2.x.x 以上) ファイルメーカーを開きます。ワクチン Pro の VacPro フォルダの図の 15 個 (Vac_Tel 追加) のファイルを準備してください。(図)



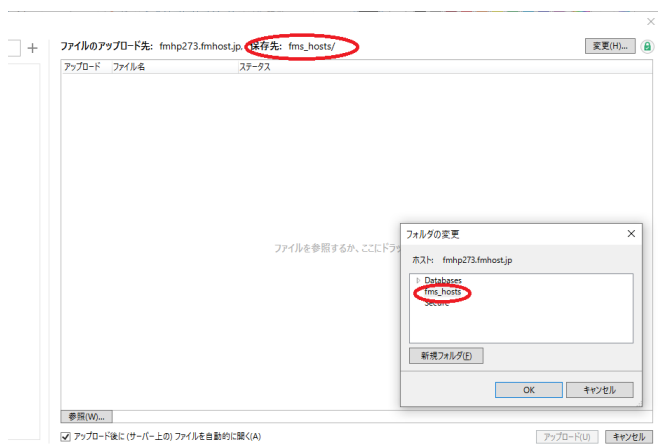
最初に関開画面で操作します。ファイル>共有設定>ホスト でアップロードを選択します。(図)



その画面が下の(図)です。Filemaker Server の認証を入力してください



(注意) FMHost ではデータベースの保存先は fms_hosts になっておりますので間違わないようにしてください。(デフォルトでは Database になっておりますので必ず変更してください。)ここにメールに添付しているワクチン Pro のファイルを参照するかドラッグ & ドロップアップロードを押してアップロードしてください。(図)



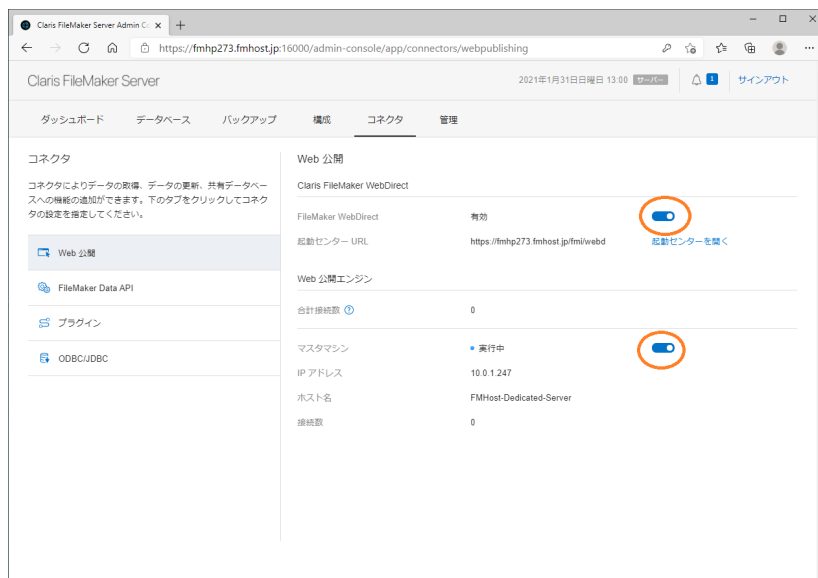
通常の場合は(図)のように/Databases で良いです。



WebDirect の設定

コネクタ>Web 公開

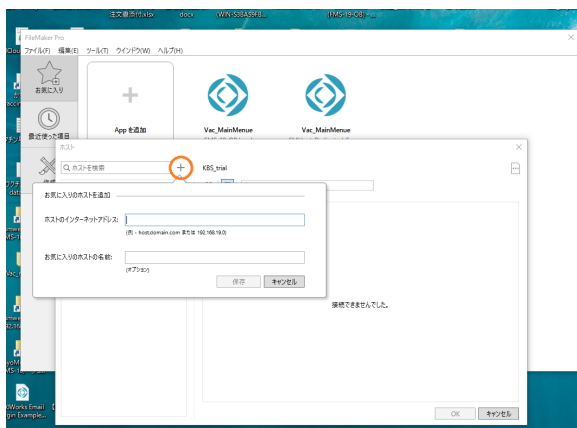
「FileMakerWebDirect」を有効にします。Web 公開エンジン「マスタマシン」を実行中にします。(図)



第2章 ワクチン Pro の準備

ワクチン Pro のオープン

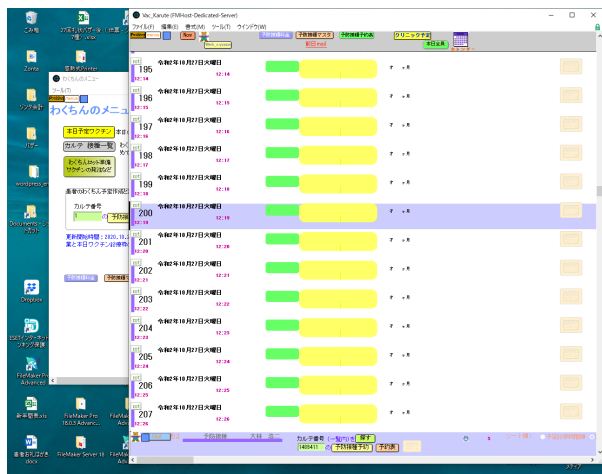
初期はホストの登録をしていませんので、ファイル>ホスト>ホストを表示(S).....でプラスを押し、表示のアドレス、ホスト名（オプションで自由）を入力します。（図）



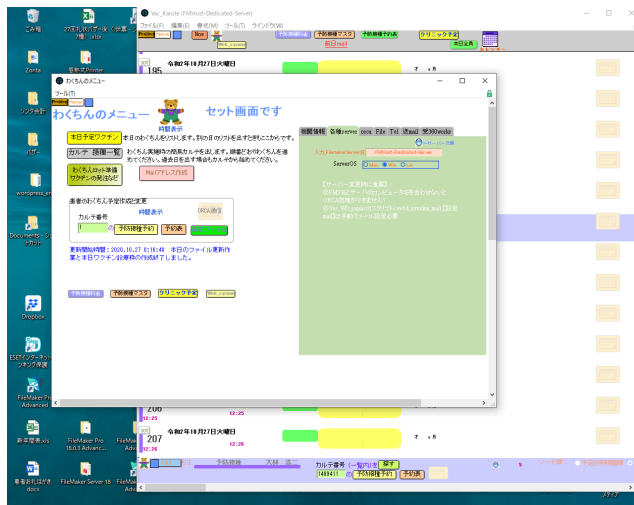
ホストから先ほどセットしたホストを選んでください。リストの中の Vac_MainMenue を開きます。（このファイルがメインのエントランスです。）（図）例は GOZAN になっています。



Vac_MainMenueを開くと同時にVac_Karute（日々のカルテ用に使用）も開かれるようになっていきます。前述のサーバースクリプトの「Vac_日々更新レコード作成」を実行していなかった場合はここで行われますので終わるまでお待ちください。（図）



後ろに隠れている「わくちんのメニュー」(ウインドウ名)をクリックして前面に出します。
これがエントランスファイル Vac_MainMenue です。(図)



わくちんメニュー（Vac_MainMenue）の設定

機関情報

「Full Access」の権限で開くと（アカウント「VacPro」で開きます。）右にタブが開きます。（部 分アクセスでは現れません。例:「iji」）

一番左の機関情報のタブを押します。（図）

機関情報 各種server orca File Tel 送mail 受360works

入力_MailFrom
[redacted]@gmail.com

入力_WDのURL
[https://\[redacted\].fmhost.jp:443/fmi/webd#Vac_WD_public](https://[redacted].fmhost.jp:443/fmi/webd#Vac_WD_public)

入力_お知らせ自院名
[FMhostわくちんClinic](#)

入力_お知らせ電話
[XXX-XXX-XXXX](#)

入力_自院住所
[香川県高松市](#)

【メイン地方公費】市町名 [高松市](#)

予約カルテ関連_自動入力終了Time(診察終了後の時間で設定) サーバ上のスクリプト【loop_YoYaki_sync】の終了する時間です。
22:30:00

アカウント・パス登録

【入力_MailFrom】 患者にメールを発信するときに内容で記載するクリニック側のメールアドレスを記載します。Gmailを利用しています。 【入力_WDのURL】 患者がWEBで閲覧するVac_WD_publicファイル表示用のURLを記載します。（これが WebDirectのメイン画面になります） 【入力_お知らせ自院名】 患者にメールを発信するときにメール内容中に記載するクリニックの機関名を記載します。 【入力_お知らせ電話】 患者にメールを発信するときにメール内容中に記載するクリニックの電話番号を記載します。

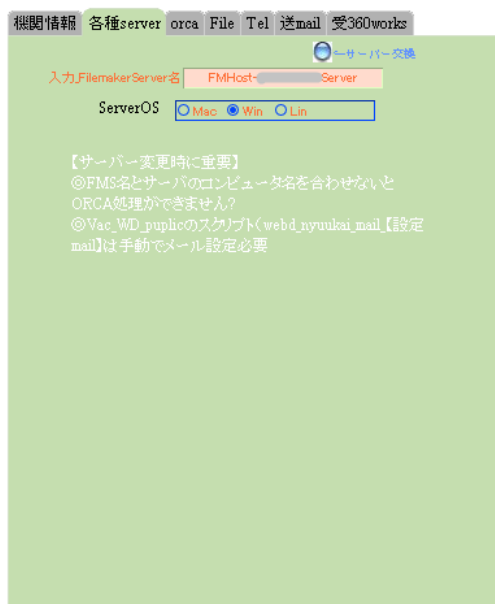
【メイン地方公費_市町村名】 地方公費の申請をするときに一番人数の多い市区町村を記載します。市区町村を公費 を提出するための表記で記載します。（市区町村まで必要）

【予約カルテ関連_自動入力終了Time(診察終了後の時間で設定) サーバ上のスクリプト<loop_YoYaki_sync>の終了する時間です】 夜中にスクリプトが動くので、患者さんが絶対来ない時間で23時頃までの時間を指定ください。（厳密には深夜の 00:00:00 より数分前まで入力してください。）

各種 server

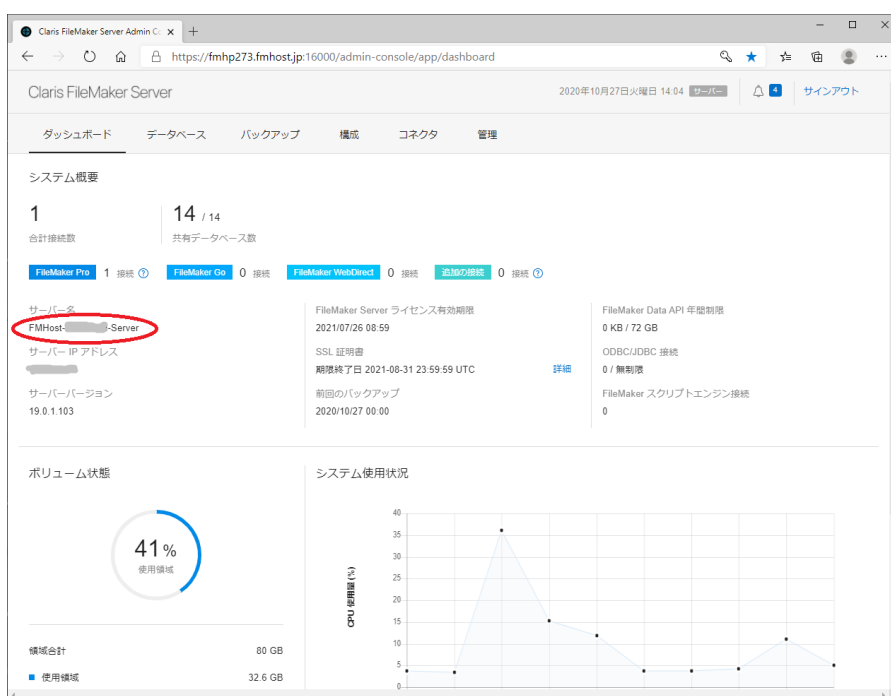
「Full Access」の権限で開くと右にタブが開きます。各種 server のタブを押します。

(図)



【入力_FilemakerServer 名】 Admin Console に記載されているサーバ名を記載します。

(図)



【ServerOS】 Mac(Machintosh) Win(Windows)_FMHost は Win Lin(Linux)から選 択します。

ORCA

ORCA を使用していない方も見てください。「Full Access」の権限で開くと右にタブが開きます。orcaのタブを押します。(図)



【ORCAのIPアドレスorホスト名】 【ORCAのアカウント】 【ORCAのパス】を入力します。

これにより【患者 data_ORCA_使用】を「する」にすると ORCA 通信ボタンが現れます。(図)



前述のフィールド値を利用して ORCA と c URL 通信により患者情報を取ることが出来ます。

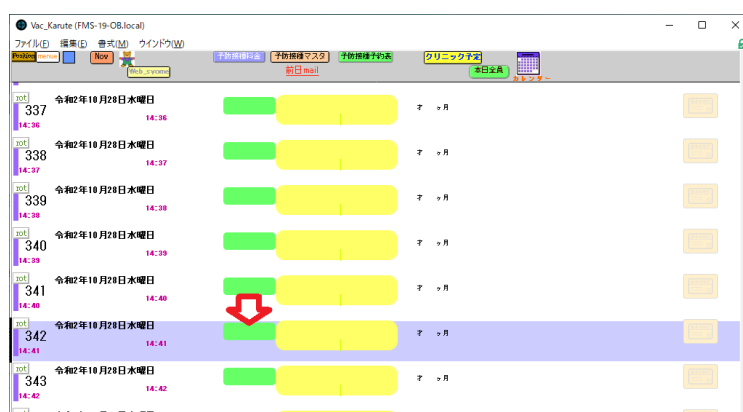
この設定はVac_PtDataのスクリプト「OrcaApi_Jason_受信用_【設定 ORCA】」で使用し、ORCAから自動的に患者データを取り出します。

(スクリプトの作動場所)

◎カルテ番号を入力し、「ORCA 通信」ボタンを押したとき



◎カルテ番号を赤矢印に入力したとき(図)



#####

注目；ORCA でない医療機関はこの「OrcaApi_Jason_受信用_【設定 ORCA】」スクリプト を各レセコンの Api の仕様書にて改変すると患者データは自動で取り出せます。

#####

送 mail

「Full Access」の権限で開くと右にタブが開きます。「送 mail」のタブを押します。(図)



【mail_ユーザー情報_送信SMTPサーバ】GMailは「smtp.gmail.com」 【mail_サーバ情報_サーバーポート】SSLを利用するので「465」 【mail_サーバ情報_ユーザー名】Gmail ユーザー名 【mail_サーバ情報_パスワード】Gmail パスワード

受 360Works

「Full Access」の権限で開くと右にタブが開きます。「受 360Works」のタブを押します。
(図)



(プラグインの設定)

【Email_Key】360Works EmailのLicense Keyを入力 【Email_RegisteredTo】Registered Toを入力 (360Works社から与えられたもの)

(メール受信用)

【Inbaund Host】GmailのIMAPホスト名 「imap.gmail.com」 【Inbaund Username】

Gmailのユーザー名

【Inbaund Password】 Gmail のパスワード

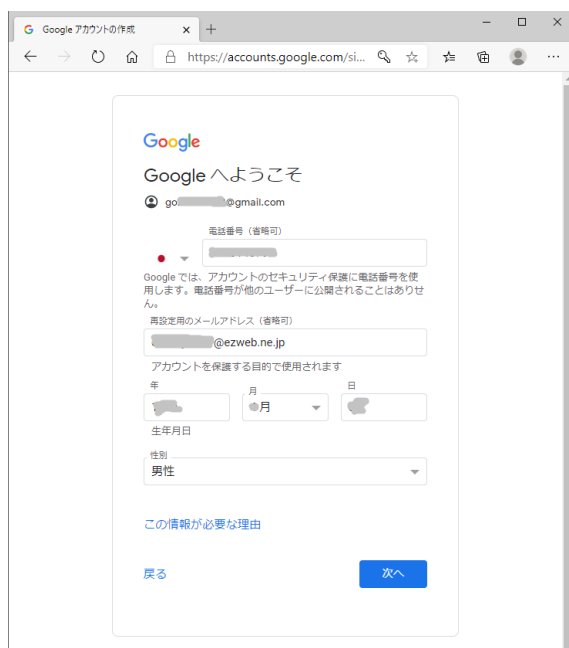
Gmail のアカウントの作成 ファイル処理用のアカウントの作成

下記のURLを出します(図)

<https://accounts.google.com/signup?hl=ja>

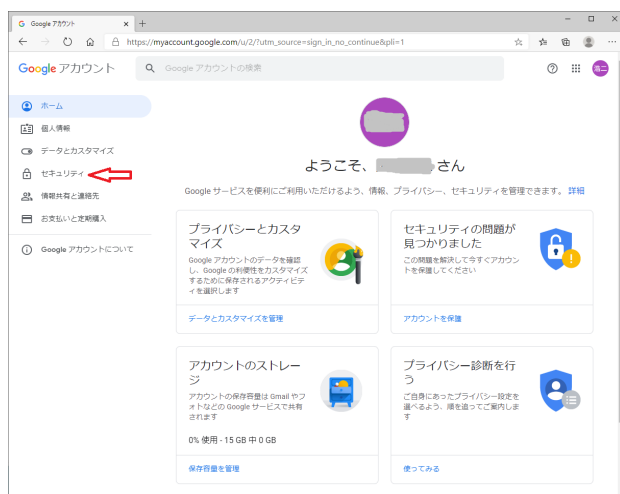


全て入力して「次へ」を押します。アカウント情報を入力します。(図)



次の、プライバシーポリシーと利用規約に進み「同意する」を押します。ログインした後

に先ほど入力したメールアドレスに確認メールが来ます。確認しておいてください。 Google アカウントの画面です。矢印の「セキュリティ」をクリックします。(図)



下へスクロールし(図)



「安全性の低いアプリへのアクセス」を有効します。次の画面で有効にします。(図)



これでワクチンProからメールの送受信が出来ます。

(メール送信の仕組みと現在Gmailとしている理由)

WebDirect で、「メールを送信」を押した場合はクライアント側でなく、FMHost サーバーがメールを出すことになるため、ODN などの通常メールを設定すると上手く送れない現象がありました。(オンプレミスからは送れるのですがクラウド側では問題があるようです。)

Vac_WD_public のスクリプト(メールを送信の部分)の手動修正

わくちんのメニューの File タブを押して、ファイル一覧を出します。

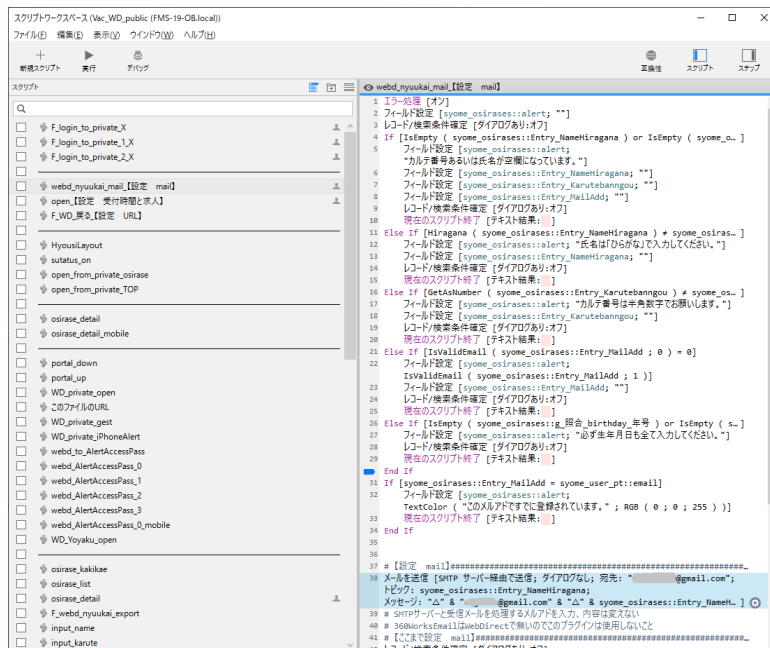
Vac_WD_public.fm12 を出します。(図)



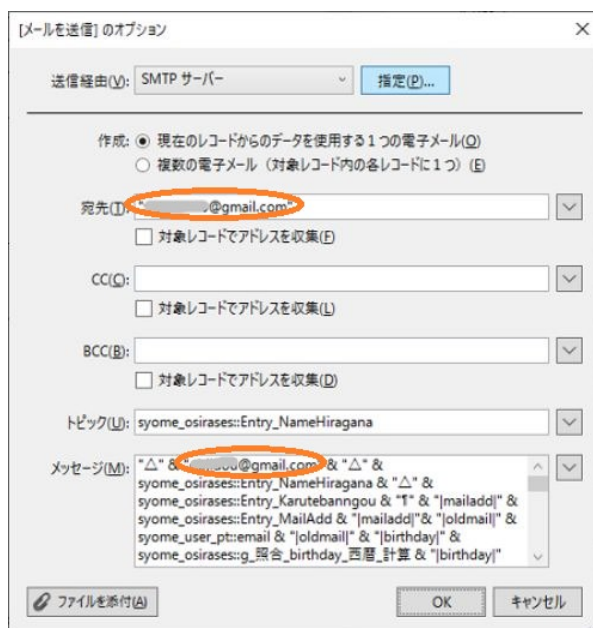
メニューの、スクリプト>スクリプトワークスペースを選択します。(図)



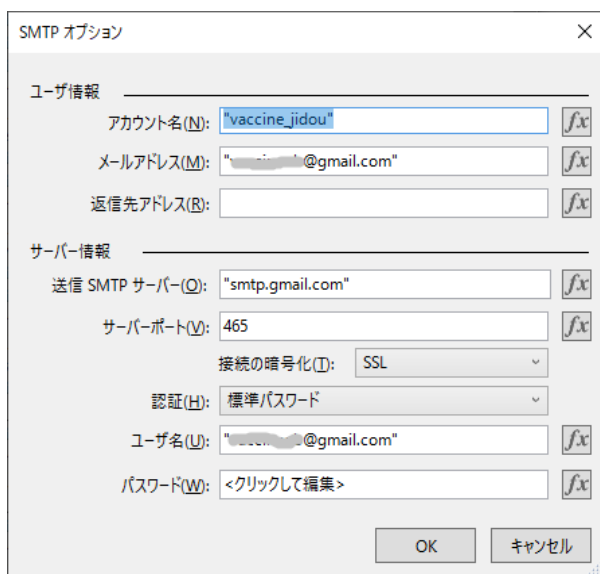
スクリプト「webd_nyuukai_mail_【設定 mail】」を選択し、中程にある「メールを送信」をダブルクリックしてください。(図)



【宛先】；前述で作ったファイル処理用のアカウントを入れてください。上方の SMTP サーバーを指定します。赤丸の2ヶ所も変更します。(図)



SMTP オプションです。(図)



SMTP オプション

ユーザ情報

アカウント名(N): vaccine_jidou fx

メールアドレス(M): @gmail.com fx

返信先アドレス(R): fx

サーバー情報

送信 SMTP サーバ(Q): smtp.gmail.com fx

サーバポート(P): 465 fx

接続の暗号化(I): SSL

認証(H): 標準パスワード

ユーザ名(U): @gmail.com fx

パスワード(W): <クリックして編集> fx

OK キャンセル

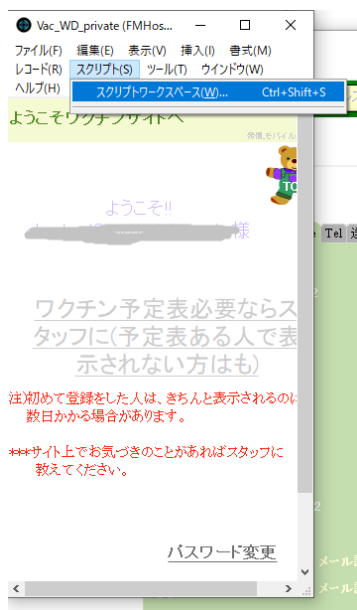
【アカウント名】；わかりやすい名前に 【メールアドレス】；前述で作ったファイル処理用のアカウント（メールアドレス）を入れてください。 【ユーザー名】；前述で作ったファイル処理用のアカウント（メールアドレス）を入れてください。

Vac_WD_private(メールを送信の部分)のスクリプトの手動修正

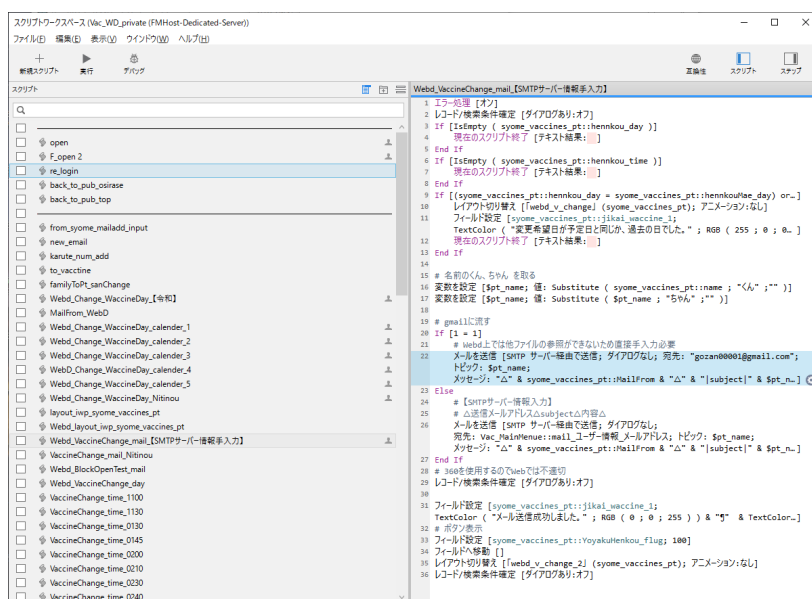
わくちんのメニューの File タブを押して、ファイル一覧を出します。Vac_WD_privateを出します。（図）



メニューの、スクリプト>スクリプトワークスペースを選択します。（図）



スクリプト「Webd_VaccineChange_mail_【SMTPサーバ情報手入力】」を選択し、中程にある「メールを送信」をダブルクリックしてください。(図)



【宛先】；前述で作ったファイル処理用のアカウントを入れてください。上方のSMTPサーバを指定します。(図)

第3章 各医療機関の設定

概要

わくちんのメニュー画面です。(図)



予防接種料金 ○○○ ワクチンの市区町村での値段の入力と自費の価格入力。これを元に各市区町村の公費請求の書類は作られます。**予防接種マスタ** ○○○ オリジナル設定したデータを元にワクチンを打つ順番が決まります。**クリニック予定** ○○○ クリニックの定休日や祝日あるいは予防接種不可日を入力しておきます。予防接種の不可日は自動予約作成時にこの日はオミットされます。**予約票作成基準** ○○○これを元に下記の曜日_基準枠を作成します。**曜日_基準枠** ○○○ 曜日によって、上記のレコードが時間毎に予約枠なのか予約なしで来院の患者を入れる窓口枠なのか、あるいは患者を入れない空欄にするのかを詳細設定します。**日々_予約枠** ○○○ 予約者の収納用のレコードです。手入力も出来ますし、Web予約もここに入力されます。**Web_お知らせ** ○○○ 医療機関からの情報を FileMaker の簡単な画面で編集し Vac_WD_public に反映させ、Web 表示します。

予防接種料金 毎年の更新など

予防接種料金の画面です。(図)

● Vac_YoyakuList_料金
ファイル(F) 表示と印刷(O) 編集(E) 書式(M) レコード(R) ツール(T)

市町村名 高松市

① 新年度の入力前
新録のフィールド満す

② 年度更新
(4月分の請求前)

基本情報
説明
新年度に変わり目に新録して次年度のものを入るフィールドです。
4月の請求になったり年度更新を伴います。更新年度の商額に変わります。
削除 年度更新が済んでいます。

三種混合・二種混合	麻人混入	麻人
三種混合1期 ¥4920 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M11混入 ¥11737 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M11混入 ¥4870 2015 H27 / 2015 H27 / 0
三種混合2期 ¥4820 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M12混入 ¥11737 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M12混入 ¥3570 2015 H27 / 2015 H27 / 0
三種混合3期 ¥4720 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M13混入 ¥11737 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M13混入 ¥6836 2015 H27 / 2015 H27 / 0
三種混合4期 ¥4620 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M14混入 ¥11737 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M14混入 ¥3445 2015 H27 / 2015 H27 / 0

さぬき市

① 新年度の入力前
新録のフィールド満す

② 年度更新
(4月分の請求前)

基本情報
説明
新年度に変わり目に新録して次年度のものを入るフィールドです。
4月の請求になったり年度更新を伴います。更新年度の商額に変わります。
削除 年度更新が済んでいます。

三種混合・二種混合	麻人混入	麻人
三種混合1期 ¥5310 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M11混入 ¥10400 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M11混入 ¥2780 2018 H30 / 2018 H30 / 0
三種混合2期 ¥5190 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M12混入 ¥10400 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M12混入 ¥6660 2018 H30 / 2018 H30 / 0
三種混合3期 ¥5190 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M13混入 ¥10400 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M13混入 ¥2780 2018 H30 / 2018 H30 / 0
三種混合4期 ¥5190 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M14混入 ¥10400 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M14混入 ¥6660 2018 H30 / 2018 H30 / 0

自費の単価

自費二種混合1期	自費二種混合2期	自費二種混合3期	自費二種混合4期	自費麻人混入1期	自費麻人混入2期	自費麻人混入3期	自費麻人混入4期
¥7500	¥7500	¥7500	¥7500	¥1500	¥5000	¥7000	¥7000
自費麻人混入経過費	自費日本脳炎1期	自費日本脳炎2期	自費日本脳炎3期	自費BGG	自費BGGのみ	自費麻人混入1期	自費麻人混入2期
¥1500	¥5000	¥7000	¥7000	¥1500	¥5000	¥7000	¥7000
自費麻人混入3期	自費麻人混入4期	自費アコ	自費上B	自費JA	自費サバックス	自費ロックス	自費単B
¥1500	¥1500	¥7500	¥7500	¥7500	¥7500	¥7500	¥7500
自費水痘定期	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン
¥6500	¥6500	¥7000	¥7000	¥7000	¥7000	¥7000	¥7000

自費単価の無いものは計算不能なため、自費のタイプは出てきません

上段_____市町村名に正式表記で市町村名を入力（新しいレコードを作るときは、複製
 を利用しそこに市町村名を入力した方簡単）し、ワクチンそれぞれの委託料、自己負担、
 請求額、接種不可請求額を入力します。(図)

● Vac_YoyakuList_料金
ファイル(F) 表示と印刷(O) 編集(E) 書式(M) レコード(R) ツール(T)

市町村名 高松市

① 新年度の入力前
新録のフィールド満す

② 年度更新
(4月分の請求前)

基本情報
説明
新年度に変わり目に新録して次年度のものを入るフィールドです。
4月の請求になったり年度更新を伴います。更新年度の商額に変わります。
削除 年度更新が済んでいます。

三種混合・二種混合	麻人混入	麻人
三種混合1期 ¥4920 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M11混入 ¥11737 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M11混入 ¥4870 2015 H27 / 2015 H27 / 0
三種混合2期 ¥4820 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M12混入 ¥11737 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M12混入 ¥3570 2015 H27 / 2015 H27 / 0
三種混合3期 ¥4720 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M13混入 ¥11737 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M13混入 ¥6836 2015 H27 / 2015 H27 / 0
三種混合4期 ¥4620 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M14混入 ¥11737 2015 H27 / 2015 H27 / 0	M14混入 ¥3445 2015 H27 / 2015 H27 / 0

さぬき市

① 新年度の入力前
新録のフィールド満す

② 年度更新
(4月分の請求前)

基本情報
説明
新年度に変わり目に新録して次年度のものを入るフィールドです。
4月の請求になったり年度更新を伴います。更新年度の商額に変わります。
削除 年度更新が済んでいます。

三種混合・二種混合	麻人混入	麻人
三種混合1期 ¥5310 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M11混入 ¥10400 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M11混入 ¥2780 2018 H30 / 2018 H30 / 0
三種混合2期 ¥5190 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M12混入 ¥10400 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M12混入 ¥6660 2018 H30 / 2018 H30 / 0
三種混合3期 ¥5190 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M13混入 ¥10400 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M13混入 ¥2780 2018 H30 / 2018 H30 / 0
三種混合4期 ¥5190 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M14混入 ¥10400 2018 H30 / 2018 H30 / 0	M14混入 ¥6660 2018 H30 / 2018 H30 / 0

自費の単価

自費二種混合1期	自費二種混合2期	自費二種混合3期	自費二種混合4期	自費麻人混入1期	自費麻人混入2期	自費麻人混入3期	自費麻人混入4期
¥7500	¥7500	¥7500	¥7500	¥1500	¥5000	¥7000	¥7000
自費麻人混入経過費	自費日本脳炎1期	自費日本脳炎2期	自費日本脳炎3期	自費BGG	自費BGGのみ	自費麻人混入1期	自費麻人混入2期
¥1500	¥5000	¥7000	¥7000	¥1500	¥5000	¥7000	¥7000
自費麻人混入3期	自費麻人混入4期	自費アコ	自費上B	自費JA	自費サバックス	自費ロックス	自費単B
¥1500	¥1500	¥7500	¥7500	¥7500	¥7500	¥7500	¥7500
自費水痘定期	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン	自費水痘ワクチン
¥6500	¥6500	¥7000	¥7000	¥7000	¥7000	¥7000	¥7000

自費単価の無いものは計算不能なため、自費のタイプは出てきません

上方の新規レコード、複製、削除ボタンを利用し、医師会や市区町村からの 配布の資
 料を基に、請求する種類のワクチンは全て金額を入れてください。請求する必要のある
 各市町村を作成してください。(図)

● Vac_VoyakuList_料金

ファイル(F) 表示と印刷(O) 編集(E) 書式(M) レコード(R) ツール(T)

市区町村名を入力 **高松市**

広域予防接種の料金表

市町名: **高松市**

① 新年度の入力前
新年度のフィールド清す

② 年度更新
(4月分の請求前)

基本構成説明

新規 履歴

新年度年度に変わりに目新しって次年度ののれ入るフィールドです。4月の請求になったら「年度更新」を押します。更新後年度の西暦に変わります。解除 年度更新が押されています。

① 新年度の入力前
新年度のフィールド清す

② 年度更新
(4月分の請求前)

基本構成説明

新規 履歴

新年度年度に変わりに目新しって次年度ののれ入るフィールドです。4月の請求になったら「年度更新」を押します。更新後年度の西暦に変わります。解除 年度更新が押されています。

自費の単価

自費_三種混合1期 自費_三種混合2期 自費_麻疹1期 自費_麻疹2期 自費_麻疹3期 自費_麻疹4期 自費_風疹1期 自費_風疹2期 自費_風疹3期 自費_風疹4期
 自費_風疹経過措置 自費_日本脳炎1期 自費_日本脳炎2期 自費_BCG 自費_BCGのみ 自費_麻しん風しん混合1期 自費_麻しん風しん混合2期 自費_肺炎球菌
 自費_麻しん風しん混合3期 自費_麻しん風しん混合4期 自費_おたふく 自費_JIA 自費_JIA 自費_サーバリックス 自費_ロタックス 自費_単価 自費_トプ 自費_成人肺炎
 自費_水痘定期 自費_おたふく 自費_おたふく 自費_日本脳炎3期 自費_日本脳炎4期 自費_インフル1回 自費_インフル2回 自費_インフル3回 自費_DTP 自費_COV
 自費_単価 自費_単価 自費_単価 自費_単価 自費_単価 自費_単価 自費_単価 自費_単価 自費_単価

自費単価の無いものは「公費」と見なされ、自費のタイプではできません。

毎年の更新(図)

(準備)

新年度になったら①のボタンを押します。全ての市町村で同様に押します。各ワクチンの、ワクチン_委託料、ワクチン_自己負担、ワクチン_接種不可請求額（ワクチン_請求額は計算フィールドです）の3ヶ所を、使用中の全てのワクチンで入力しておきます。図は三種混合のみマークしています。

(実行)

4月(年度の始まり)の公費を作成する直前に全ての市町村で②のボタンを押すと、新規の金額が代入されます。

予防接種マスター

予防接種マスターの画面です。(図)

上半分の青い■はオリジナルの部分、緑の●はオリジナルが複製された部分を表しています。

青枠のボタンの説明 それぞれを押したときの順番を示します。(図)

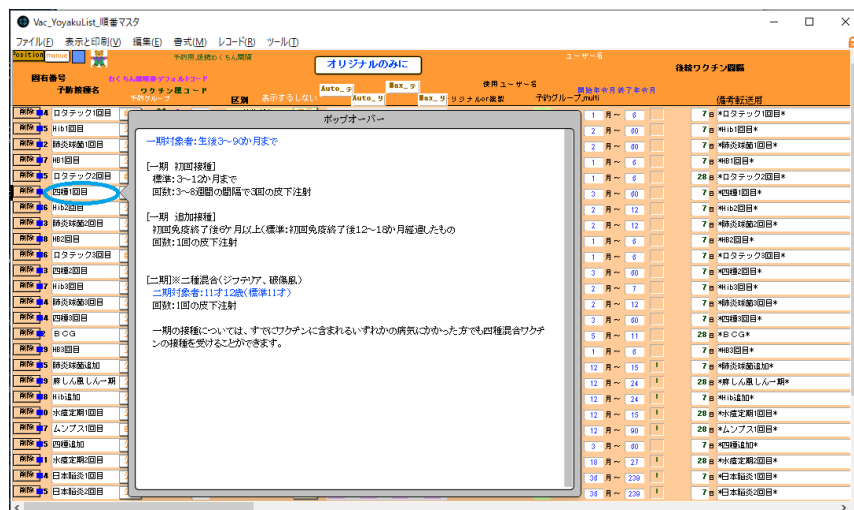
Auto_テ ロタテックで同時接種の個数を1個、2個、あるいは3個までを選択したときのワクチンの順番を手動設定できます。**Auto_リ** ロタリックスで同時接種の個数を1個、2個、あるいは3個までを選択したときのワクチンの順番を手動設定できます。**Max_テ** ロタテックで同時接種の個数を4個で選択したときのワクチンの順番を手動設定できます。**Max_リ** ロタリックスで同時接種の個数を4個を選択したときのワクチンの順番を手動設定できます。

「オリジナルのみに」ボタン(図)



全体の設定を変更するときを使用します。押すと個人用に作成された順番や各ワクチンの説明は消去されオリジナルのみにになります。※デフォルトを変更したいときはまずはオリジナルのみにします。クライアントがその後に使用すると新しいオリジナルが使用されます。

各ワクチンの名称をクリックするとワクチンの説明分が出ます。(図)

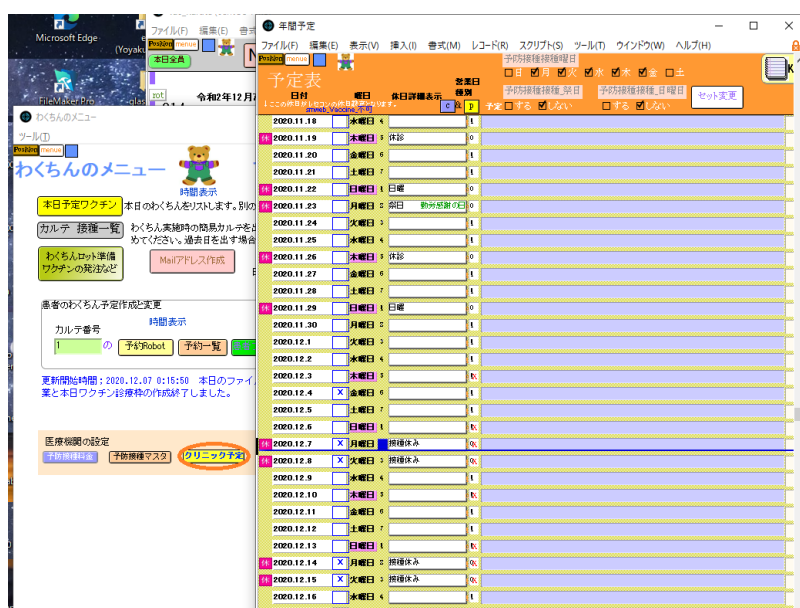


予約Robotで個人作成したポータル(図)でワクチン名を押したときに表示されます。それぞれのアカウントでその表示は作成されますので、使用者のみのオリジナルな説明を作ってください。(オリジナルのみにボタンを押したときは消去されます。)(図)

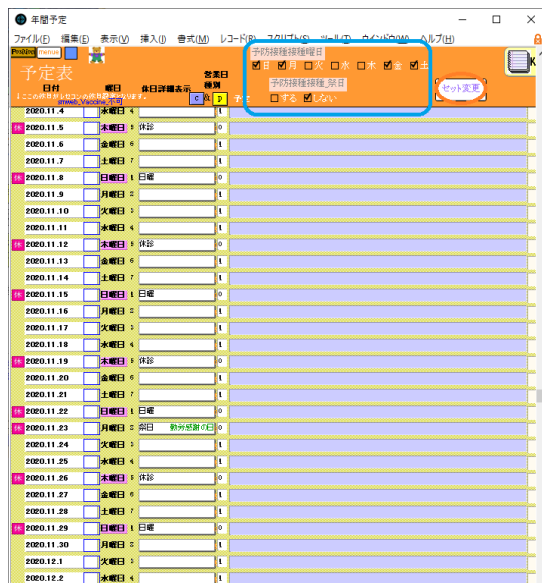


クリニック予定(医療機関の接種日の設定)

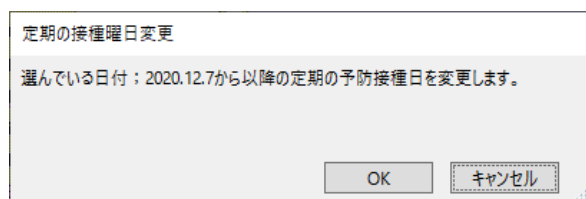
わくちんのメニューのクリニック予定ボタンから年間予定を出します。(図)



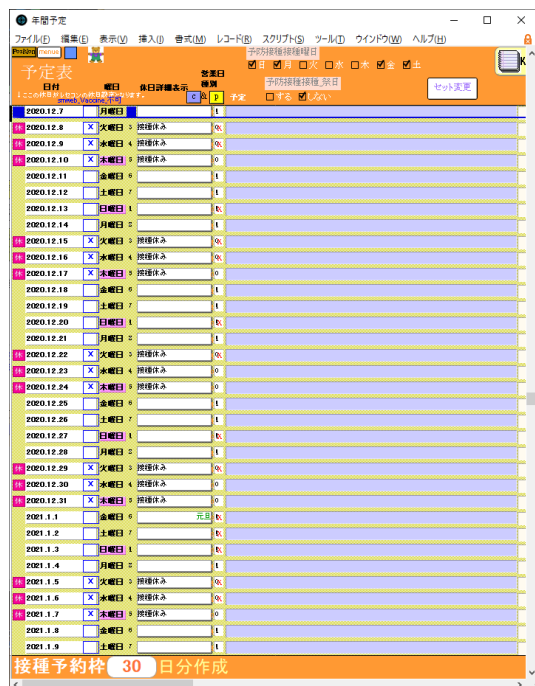
情報の青枠で示した領域で各医療機関の曜日毎の接種日の規則をつけます。たとえばkak「接種日を日月金土」で「祭日は接種しない」にしてセット変更ボタンを押してください。(図)



ダイアログがでますので良ければ「OK」を押します。(図)



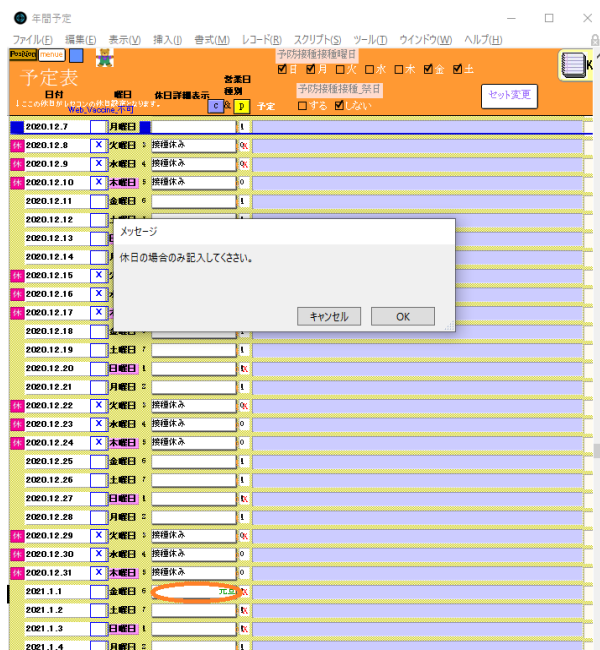
セットしたようになりました。(図)



オーダー通りになっています。細かいは手動でします。

(細かい設定)

たとえば元旦を正月休暇にします。



ポップアップで「日曜 休診 祭日 夏季休暇 正月休暇 特別休暇 臨時休暇 休日加算 半日出張」が出ますので、正月休暇を選択します。1月1日が正月休暇になります。赤丸の「X」は自動では入ります。ここはWeb_Vaccine_不可フィールドで、ここに「X」が入ると、webからこの日はwebからも予約不可になります。(図)

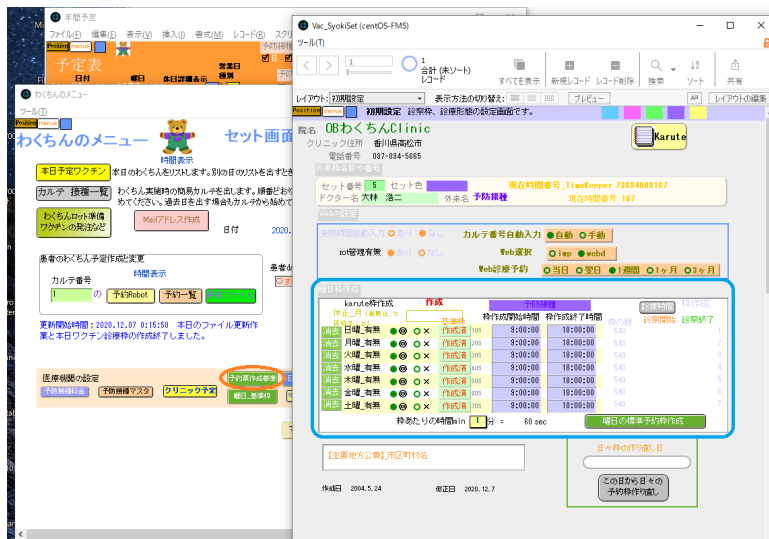


医療機関自体は休診でなくても、また接種日でも、Web から予約させたくない場合にはここを「X」とすると、Web からは予約できないようになります。

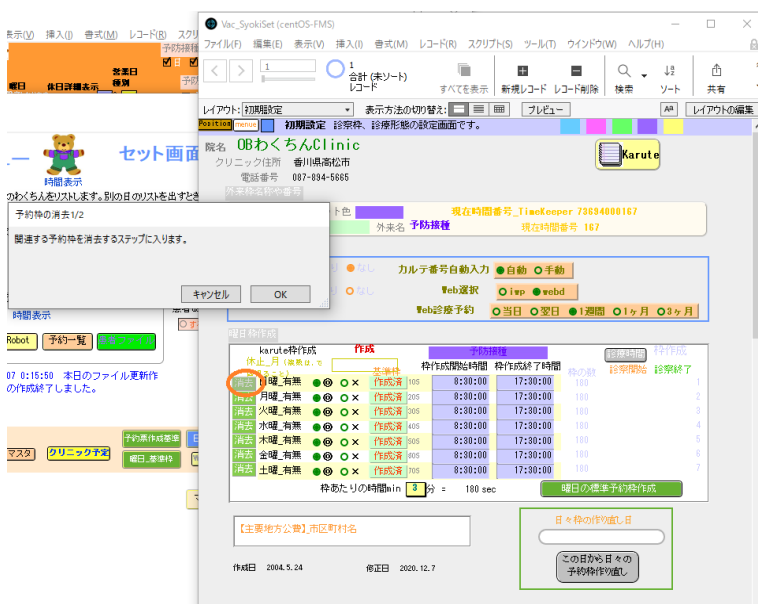
予約票作成基準

(個々の曜日で作成する方法)

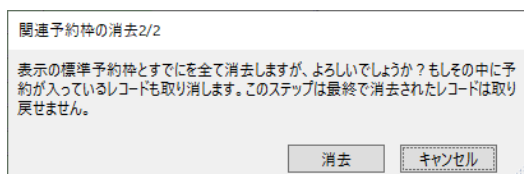
わくちんのメニューの予約表作成基準を押すと、予約枠を作る前のセッティング条件が現れます。初期の状態です。青色の枠内で曜日枠をセットします。日曜日も含めて全て作成してください。(図)



まずは「枠あたりの時間 min」を決めてください。デフォルトは1分ですが3分にしてみます。予防接種の枠作成開始時間と終了時間は診療時間で決めてください。例は開始を 8:30:00、終了を 17:30:00 にしました。(曜日により時間を変えてもいいです。) 日曜日の基準枠を消去しています。ダイアログが現れますので「OK」してください。(図)



もう一度ダイアログが現れます。(図)



消去され、表示は消去の代わりに「作成」になっています。同様に残りの月～土も同

様にします。(図)

[illegible]

(全ての曜日で作成する方法)

右青枠の曜日の標準予約枠 作成はまとめて出来ます。(図)

Win_VacSysSet (centOS-FMS)

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(M) レコード(B) スクリプト(S) ツール(T) ウインドウ(W) ヘルプ(H)

< > 1 1 合計 (キート) レコード すべてを表示 新規レコード レコード削除 検索 ソート 共有

レイトウ: 初期設定 表示方法の切り替え: フレーム AR レイトウの編集

初期設定 診療科、診療形態の設定画面です。

院名 OBわくちんClinic クリニック住所 香川県高松市 電話番号 087-894-5685

診療科目

セット番号 5 セット色 現在時間番号 TimeKeeper 73694000167
ドクター名 大村 浩二 外来名 予防接種 現在時間番号 167

Webの設定

来院履歴自動入力 ☐ あり ☒ なし カルテ番号自動入力 ☒ 自動 ☐ 手動
Web選択 ☒ isp ☐ web
Web診療予約 ☒ 当日 ☐ 翌日 ☐ 1週間 ☐ 1ヶ月 ☐ 3ヶ月

曜日別作成

karute特作成	作次	予防接種	診療開始	特作成	
休上 月 (無差支で)	差支特	特作成開始時間	特作成終了時間	特作成	
1695 日曜、有無	● ● × 未	1005	8:30:00	17:30:00	160
1696 日曜、有無	● ● × 未	2005	8:30:00	17:30:00	160
1697 日曜、有無	● ● × 未	3005	8:30:00	17:30:00	160
1698 日曜、有無	● ● × 未	4005	8:30:00	17:30:00	160
1699 日曜、有無	● ● × 未	5005	8:30:00	17:30:00	160
1700 日曜、有無	● ● × 未	6005	8:30:00	17:30:00	160
1701 日曜、有無	● ● × 未	7005	8:30:00	17:30:00	160

特あたりの時間 min 9 分 = 180 sec

曜日の標準予約特作成

日々特の予約直日

この日から日々の予約特作り直し

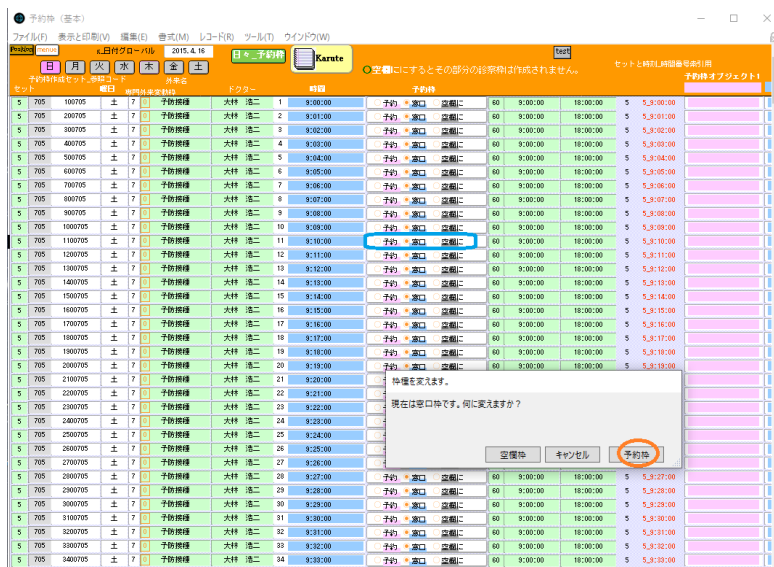
【主要地方官署】市区町村名

作成日 2004.5.24 南正日 2020.12.7

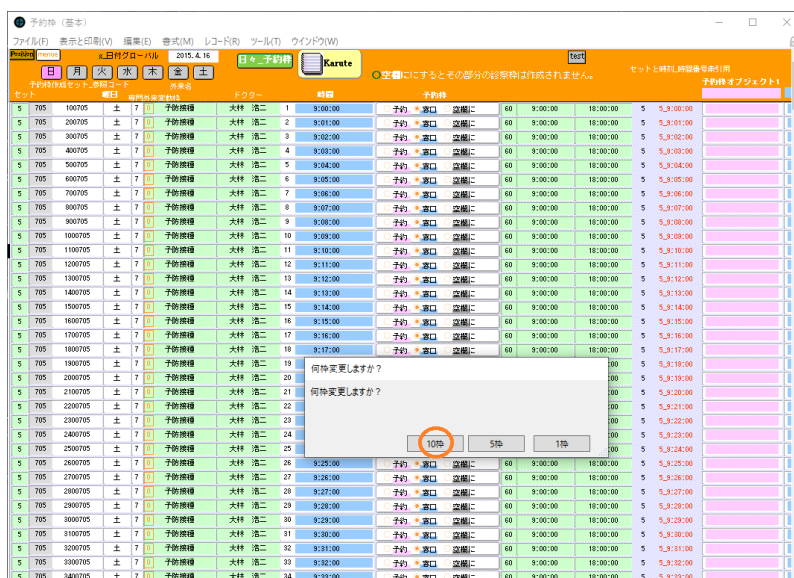
曜日_基準枠

予約標作成基準作成時に、背後に曜日の標準予約枠が出来ています。(わくちんのメニューの曜日_基準枠ボタンで出すことも出来ます。) 全て「窓口」(予約できない枠)になっていますので。Webなどから予約できるように、すべての営業曜日に手動で予約枠を作ってください。中ほどの予約、窓口、空欄の部分を押すと入力出来ます。

はじめに枠の種類を決めます。ここでは予約枠としています。(図)



連続で何枠変えるのか聞かれます。ここでは10枠としています。(図)



オーダー通りになりました。スクリプトにより作られていた日々の予約枠も変更されています。(図)

以上で曜日の基準枠、日々の予約枠が出来ています。

第4章 バーコードスキャナー購入とセッティング

(例バーコードスキャナー Xenon1902g)

ワクチンが入っている医療用医薬品のパッケージは「GS1 データバー限定型合成シンボルCC-A」が使用されています。(<https://www.jaisa.or.jp/pdfs/161130/01.pdf> //二次元のものを使用) 通常で扱わないバーコードですので、コードレスだと価格帯は10万円前後になります。実際は冷蔵庫まわりや、受付で使用するので、持ち運びが出来るようなコードレスのものがいいでしょう。ワクチン Pro はあらかじめの設定機として下記を使用しています。設定機(ワクチンProでの) ワイヤレスバーコードリーダーHoneywell製 Xenon1902g <https://imagers.co.jp/products/xenon1902g.html> (図)



当日使用分の各種ワクチンのバーコードをあらかじめまとめて登録するためには、同じ種類のロットを その都度スキャンして読み取りする方法は時間がかかって非効率です。当機の「バッチモード」を有効にしてください。連続でバーコードと個数の入力出来るようになります。

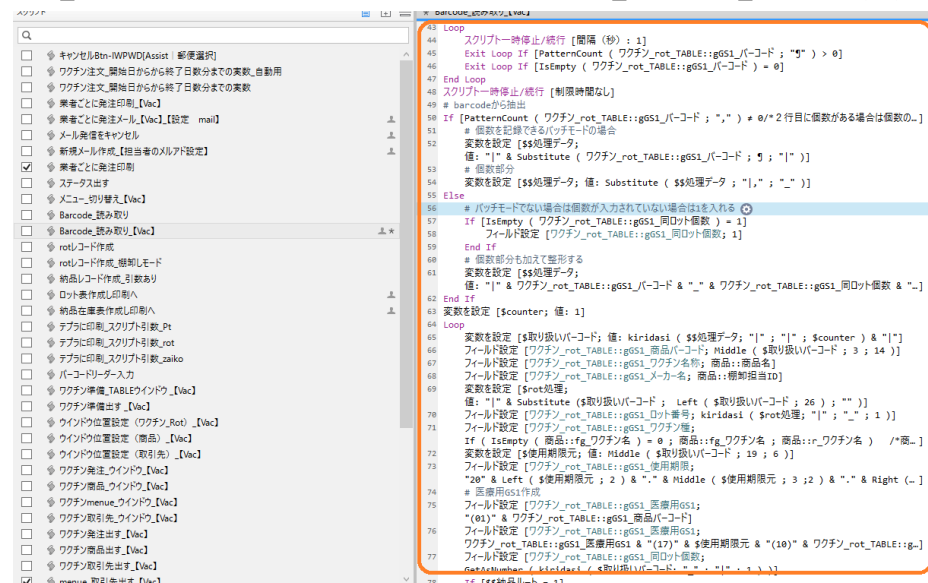
例、ロタリックス5個、アクトヒブ8個、プレベナー4個を、バッチモードを使用して連続でデータバーを読み取ったテキストです。(ワクチンロット準備で使用)

```
「01149870811100081720103110RT007,00005  
01149870814742781721052210R1C97,00008  
01149871141647011721093010AK8730,00004  
」
```

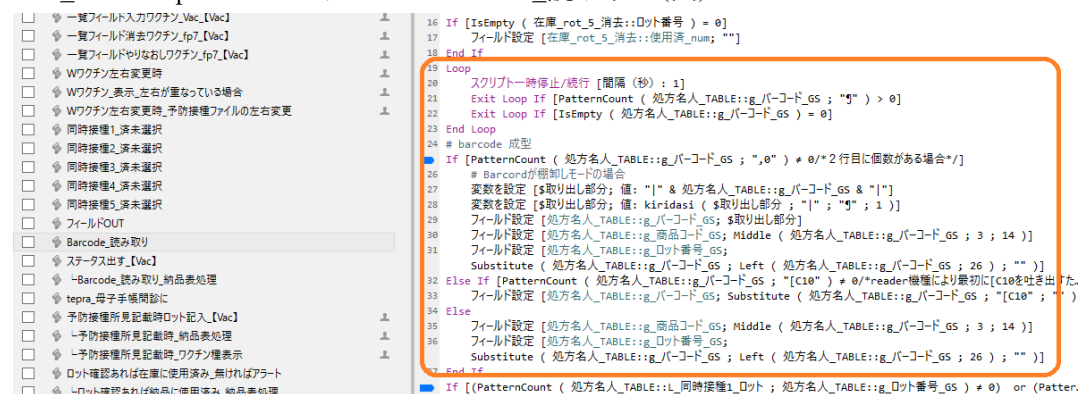
(その他の機器の場合)

他のスキャナーを利用の場合は連続でバーコードと個数が読み取れるもの(遠隔モードなど)とコードしか読み取れないものがありますが、その他の機器の為に当アプリケーションでは「コードしか読めないもの」もプログラムしています。実際使用してみて上手くいかない場合は次のスクリプトを変更してください。

Vac_BarcodeKanri.fm12のスク립ト Barcode_読み取り_【Vac】(図)



Vac_Karate.fp12 のスク립ト Barcode_読み取り(図)



上記の2カ所を修正してください。

バーコードの意味 (gs1データバー)

gs1 データバー 合成シンボル cc-a について 例(図)



(17)210930(10)AK8730(01)14987114164701

大ざっぱに「(17)期限(10)ロット(01)商品コード」になっています。21年09月までで、ロットはAK8730、製品コードは14987114164701と言うことです。これをスキャナーで読み取ると 01149871141647011721093010AK8730 になります。

「01商品コード 14987114164701 17期限 210930 10ロット AK8730」

の順になっておりそれを元にスクリプトでその部分を切り取って読んでいます。

(スクリプトステップ)

Vac_BarcodeKanri.fm12のスクリプト Barcode_読み取り_【Vac】

Vac_Karute.fp12 のスクリプト Barcode_読み取り

第5章 公費請求書のための市区町村に合った計算式の作成

Vac_YoyakuList.fmp12 の「公費の検索請求書作成」を押すとアラートが出ますので、「計算式」を押します。(図)



市区町村に合った一部自己負担計算、公費請求項目、あるいは請求単価計算が、算定計算式テキスト_保存用を計算式として使用されています。「使用中」のものは実際に使用される計算式です。(図)



/＊セット１＊/で公費請求項目計算と請求単価と一部自己負担計算の３個セットで使用します。/＊セット２＊/も３個セットになっています。地域の請求項目に合わせて、「公費請求項目計算」で公費請求項目を設定し、「請求単価計算」でその項目に合わせ請求額、「一部自己負担」でそれぞれのワクチンの自己負担が表示される仕組みになっています。(ここでの計算式によってその市町村に合った請求書を作成するようにしています。)

したがって各市区町村名での作成が必要です。(計算式の編集が出来るようになっていきます。後述)ここでは複製を使用します。レコード複製で赤枠「さぬき市(デフォルト)対象レコードの複製」で複製してください。複製は AAA 市になっています(セット１も２の控えも複製されています。)ので それを目的の市町村名に変更します。(図)

④ 地方公費_計算

ファイル(F) 表示と印刷(V) **編集(E)** 書式(M) レコード(R) ツール(T)

Position **menu** **さぬき市(デフォルト)がデフォルト複製** **編集** ←編集画面を出します。

新規

編集	算定場所	ソート	計算方法	算定キーワード	算定計算式テキスト_保存用
0073	南陽	さぬき市	NEW	一部自己負担計算	●使用中 ○控え /*セット1*//*一般的な項目*/
0053	南陽	さぬき市	NEW	公費請求項目計算	●使用中 ○控え /*セット1*//*一般的な項目*/
0054	南陽	さぬき市	NEW	請求単価計算	●使用中 ○控え /*セット1*//*一般的な項目*/
0074	南陽	さぬき市	NEW	一部自己負担計算	○使用中 ●控え /*セット2*//*全て個々*/
0027	南陽	さぬき市	NEW	公費請求項目計算	○使用中 ●控え /*セット2*//*全て個々*/
0033	南陽	さぬき市	NEW	請求単価計算	○使用中 ●控え /*セット2*//*全て個々*/

④ 地方公費_計算

ファイル(F) 表示と印刷(V) **編集(E)** 書式(M) レコード(R) ツール(T)

Position **menu** **さぬき市(デフォルト)がデフォルト複製** **編集** ←編集画面を出します。

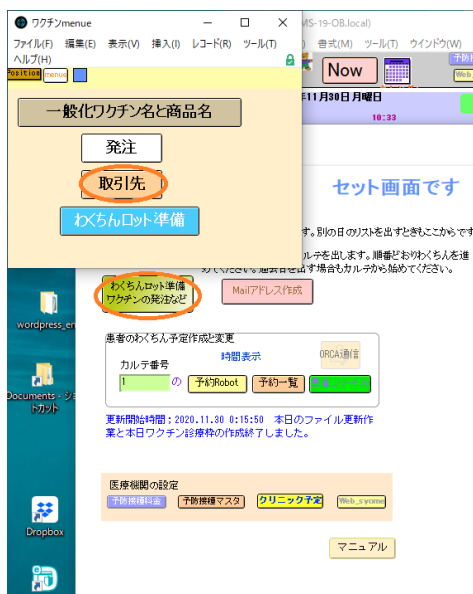
新規

編集	算定場所	ソート	計算方法	算定キーワード	算定計算式テキスト_保存用
0087	南陽	AAA市	NEW	一部自己負担計算	●使用中 ○控え /*セット1*//*一般的な項目*/
0088	南陽	AAA市	NEW	公費請求項目計算	●使用中 ○控え /*セット1*//*一般的な項目*/
0089	南陽	AAA市	NEW	請求単価計算	●使用中 ○控え /*セット1*//*一般的な項目*/
0090	南陽	AAA市	NEW	一部自己負担計算	○使用中 ●控え /*セット2*//*全て個々*/
0091	南陽	AAA市	NEW	公費請求項目計算	○使用中 ●控え /*セット2*//*全て個々*/
0092	南陽	AAA市	NEW	請求単価計算	○使用中 ●控え /*セット2*//*全て個々*/
0073	南陽	さぬき市	NEW	一部自己負担計算	●使用中 ○控え /*セット1*//*一般的な項目*/
0053	南陽	さぬき市	NEW	公費請求項目計算	●使用中 ○控え /*セット1*//*一般的な項目*/
0054	南陽	さぬき市	NEW	請求単価計算	●使用中 ○控え /*セット1*//*一般的な項目*/
0074	南陽	さぬき市	NEW	一部自己負担計算	○使用中 ●控え /*セット2*//*全て個々*/
0027	南陽	さぬき市	NEW	公費請求項目計算	○使用中 ●控え /*セット2*//*全て個々*/
0033	南陽	さぬき市	NEW	請求単価計算	○使用中 ●控え /*セット2*//*全て個々*/

請求書を作成する各医療機関の市区町村全て作成してください。※さぬき市のものはデフォルトですので消去しないでください。

第6章 発注の会社の入力

ワクチンのメニュー>取引先を押します。(図)



取引先一覧が出ますので 編集してください。ワクチンの発注宛ての人物の名前、会社電話番号、メールアドレスを入力します。発注メールの宛先になります。(図)



第7章 電話機能

2つの方法をお示しします。

◎ガンジス社のCTIを利用(ひかり電話)

◎INSメイトV30Slimを使う場合(ISDN)

ガンジス社のCTIを利用(ひかり電話)

FileMaker19.12、Windows10で設定しています。NTTひかり電話はCTI機能を持っているため、PR-500MI(ひかり電話対応ホームゲートウェイ・ひかり電話対応機器・ひかり電話ルータと呼ばれます)を利用しています。PCはEtherNetとWiFiの両方に対応したものを選択しています。

ナンバーディスプレイをお願いしておきます。(大切)

<ネット接続>

1か所目:PCのEtherNet側とPR-500MIのLAN(どれでも)を繋ぎます。

2か所目:WiFiにはFileMakerのサーバと接続する設定にします。

ガンジスのURL <https://ganges.pro/> にてインストーラーをダウンロードしてインストールします。(ガンジス HP 参照) (図)



電話との接続 <https://ganges.pro/customer/help/hikari-tel-setting/> を参照 自動設定できます。(図)



URIで開く(図)

URIで開くタイミング 「着信があった時」

URI 「 fmp:// ファイルメーカーサーバーのアドレス /Vac_Tel.fmp12?script=Local_FromGanges¶m={Tel}」



以上、非常に簡単です。

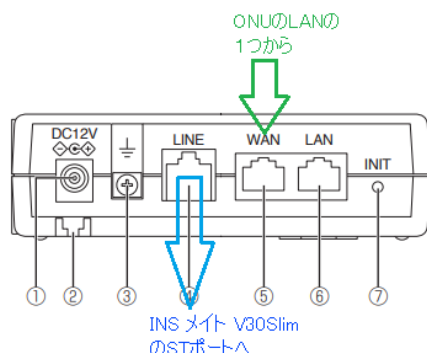
<備考 製品ガンジス> <https://ganges.pro/>

無料版 PC2台まで可。記録数500まで。CTI着信回数が月100回まで。 使用期限は、ヘルプ>ライセンスで確認して下さい。**Pro版** 4,620円（税込）/年 月あたり385円（税込）PC2台まで可。記録数20万まで。CTI 着信回数は無制限。

INSメイトV30Slimを使う場合(ISDN)

FileMaker19.12、Windows10での設定しています。 ナンバーディスプレイをお願いしておきます。光電話はそのままでは ISDN 回線で利用出来ないため、ISDN 信号に変換する NTT の「Netcommunity VG230i」、また ISDN のターミナルアダプタ「INSメイトV30Slim」（オプションで「INSメイトV30S/Tユニット」を装着する）を使用しています。接続は電話業者に依頼しました。 ※Netcommunity VG230iを利用するには、ISDN のターミナルアダプタに「S/Tユニット」の 増設が必要です。

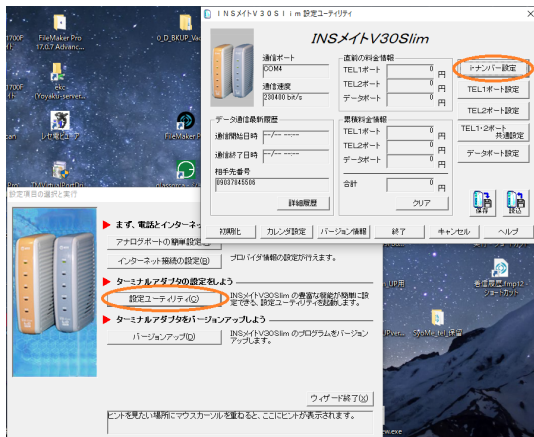
接続(Netcommunity VG230i の背面)(図)



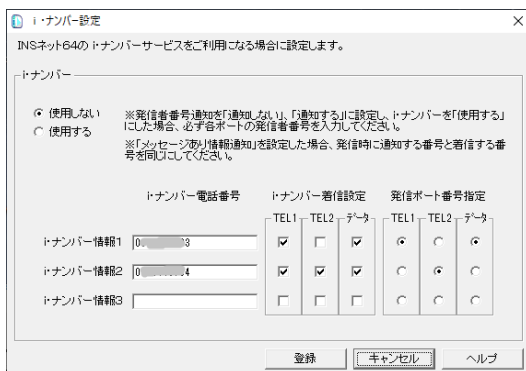
光回線の ONU(終末装置)の LAN の1つからこの装置の WAN に接続。LINE から INSメイトV30Slim のS/T ユニットに繋がります。また INSメイトV30Slim のUSB ポートは電話を着信する PC (INSメイトV30Slim のセットアップをインストール)に繋がります。

【INS メイト V30Slim の設定の例】

INSメイトV30Slim の INSメイトV30Slim イージーウィザードを開き、ユーティリティー>i・ナンバー設定を押します。(図)



以下のように設定してください。(図)



シリアル通信を扱えるMBSプラグインのURL

<https://www.monkeybreadsoftware.com/filemaker/> にてプラグインをダウンロードして購入します。(2021.06.05 現在)



「Buy Now」で購入しておいてください。登録は 後述の操作 ver2.x.x 以降 電話着信機能 を参照してください。

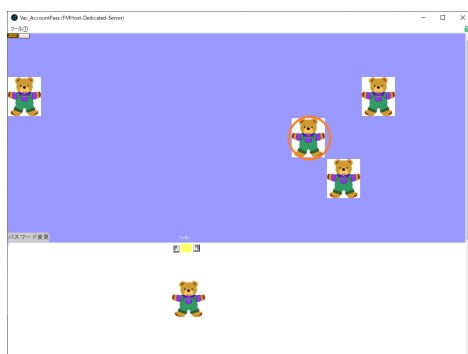
第8章 ワクチン Pro の設定

アカウント追加と削除 スタッフ登録や機能を追加するとき(完全アクセス権必要)

完全アクセス権でワクチンProを開始します。 わくちんメニューのタブで「File」をクリックし、Vac_AccountPass.fmp12 を選択します。(図)



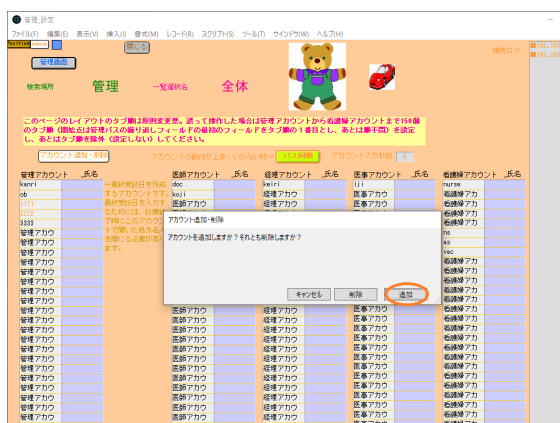
フローティングする画面になりますので、上半分のクマカスポーツカーの画像部分を押しします。(例；クマ)(図)



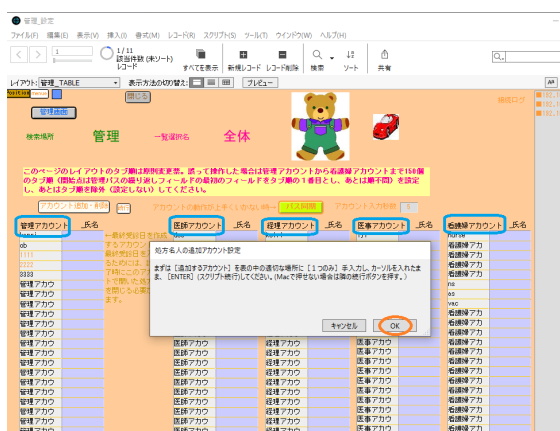
画面(Vac_AccountPass.fmp12)が開きます。出た画面の上段の注意を確認してください。(図) ※このページのレイアウトのタブ順は原則変更禁。誤って操作した場合は管理アカウントから看護婦アカウントまで150個のタブ順（各アカウントの開始点は管理パスの繰り返しフィールドの最初のフィールドをタブ順の1番目とし、あとは順不問）を設定し、あとはタブ順を除外（設定しない）してください。



注意書きの左下の「アカウント追加・削除」ボタンを押します。アカウント追加・削除のダイアログが出ます。追加の作業をしてみます。(図)



新しいダイアログが現れます。管理アカウント、医師アカウント、経理アカウント、医事アカウント、看護師アカウントの繰り返しフィールドの上記注意に従った場所にカーソルを入れアカウントを入力します。「ENTER」キー（マックは続行ボタン）を押します。(図)

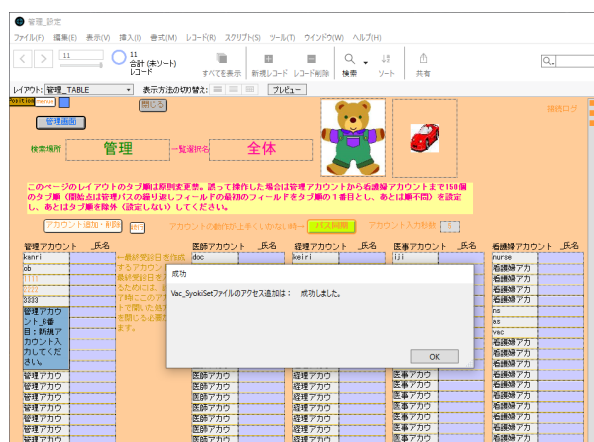


「ENTER」キーを押した後の状態です。追加アカウント名（簡単なものが良い）、パスワード、アクセス権セット（管理、医師、経理、医事、看護師のいずれか。）を入力し

「OK」します。(図)

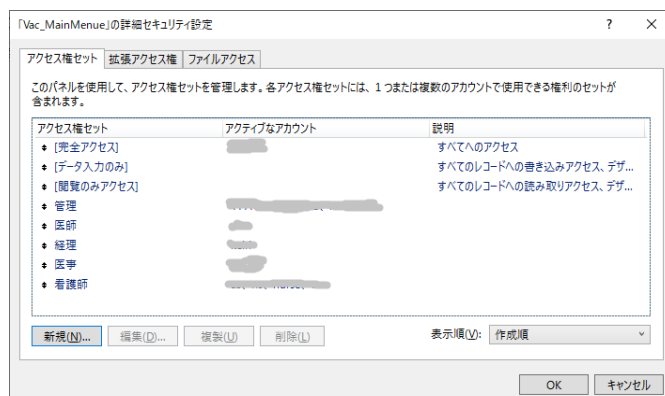


次々と各ファイルでアクセス追加が行われます。終了のダイアログが現れるまで続けてください。(図)



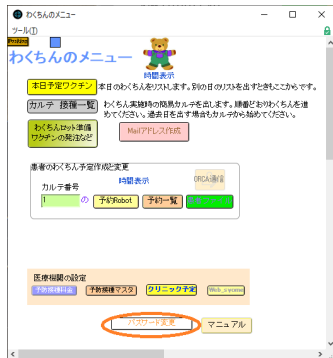
アカウント削除も同様手順で行われます。

ワクチンProは複数のファイル構成で、それぞれのファイルに合ったセットでのアクセス権が与えられています。初期値のアクセス権のセット；完全アクセス権、管理、医師、経理、医事、看護師(図)

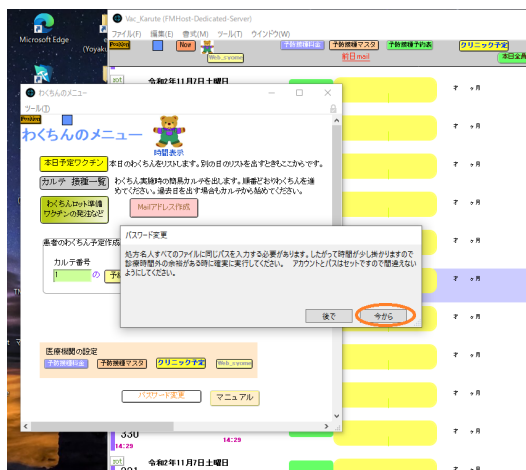


パスワードの変更の仕方

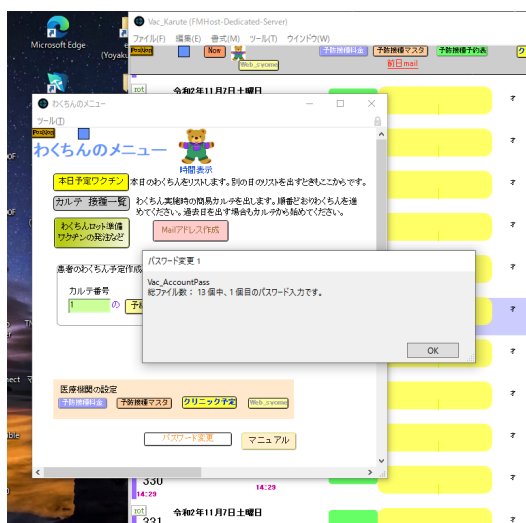
わくちんのメニューの「パスワードの変更」を押します。（完全アクセス権で開いた場合は ボタンは表示できません。）（図）



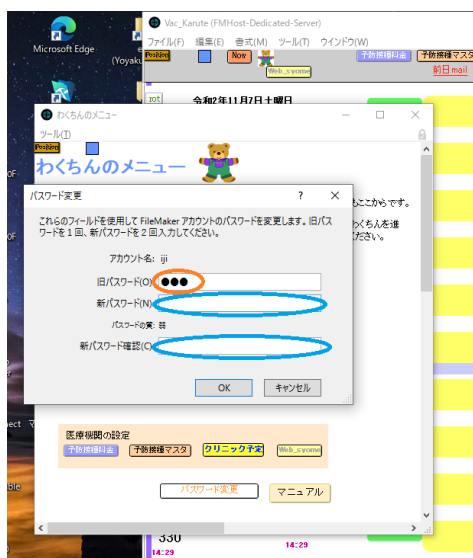
ダイアログが現れますので「今から」を押して進めます。（図）



ダイアログが出ますので「OK」（図）



使用中のパスと新しいパスを2回入れます。ファイルの個数分の入力が必要です。（図）

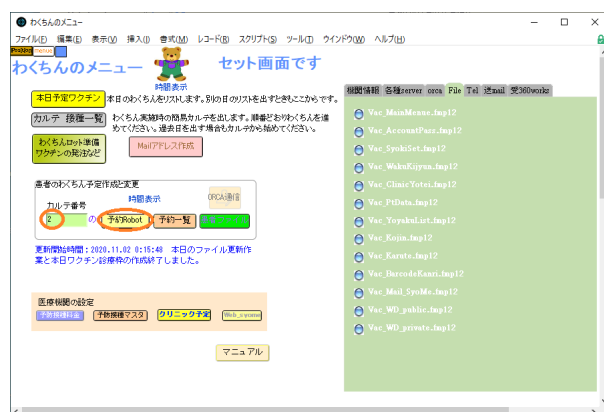


第9章 ワクチン Pro の実際業務

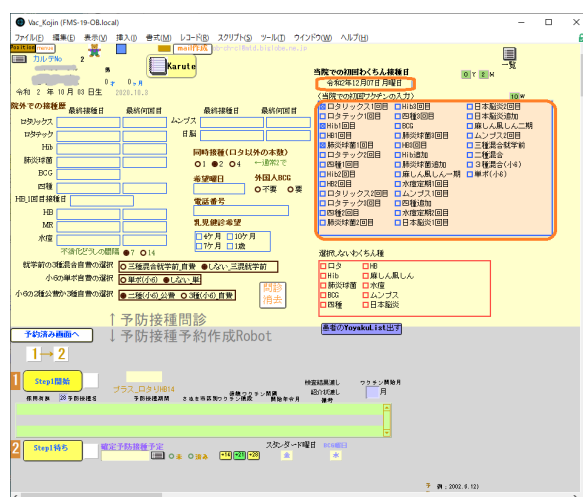
予約Robot

予約Robotを利用して複数のワクチンの予定をまとめて全部を組む（乳児）

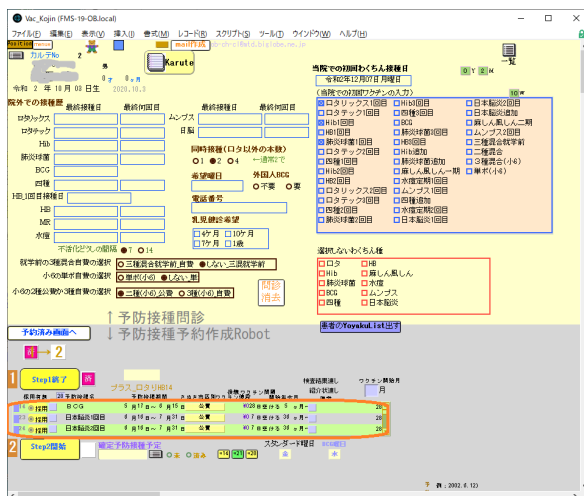
「わくちんのメニュー」の左の赤丸のカルテ番号に予定表を作りたい患者の番号を入れ、右の「予約Robotステップ1」を押します。（図）



画面上段の【予防接種問診】－上段の予防接種問診を埋めます。ワクチンが初めての人は赤線で囲った部分のみ入力します。接種既往のある人は、左の履歴も必要あれば入力します。（入力するのはそれを元に 回数判断や間隔を決定します。）分からないときは作業終了後に手動で unnecessary 部分を消去してください。（図）



画面下段の【予防接種予約作成Robot】－ステップは1→2と進めます。まず「Step1開始」を押します。問診での条件に合わせて順番がポータルに入りました。「Step1終了」になっています。（図）



次に「Step2」を押します。Step1での順番でそれぞれのワクチンの基本間隔に合わせ、また医療機関の営業日に合わせて予防接種スケジュールが組まれていきます。操作中もっとも時間のかかるプロセスです。ポータルから選択が外れますので、このときにコンピュータ操作を避けてください。もし上手くいかなかったら「Esc」キーを押し、操作を中止して「Step1」からやり直しが必要です。都合のいい曜日を聞く、薬の調合に時間のかかるBCGの曜日などを聞いてきますので、クリニックの条件に合わせてボタンを押してください。

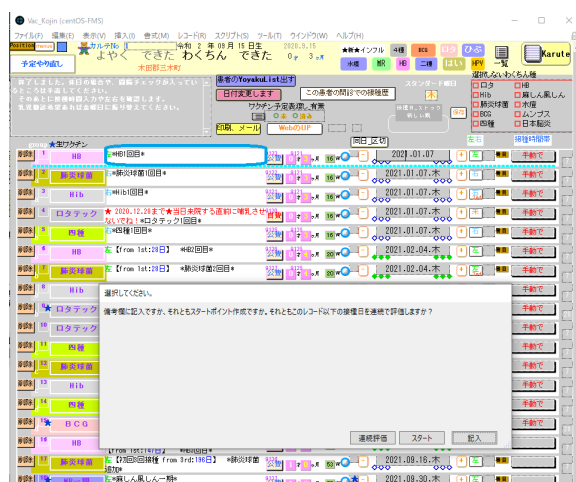
約1年間の予約ファイルが出来ました。時間が入っている部分は、デフォルトでは「手動で」になっています。時間の設定をしたい場合はVac_Kojinのスクリプト「【わくちくん】接種時間_step2_時間選択機能_【医療機関 優先 時間帯設定】」の内容を変更してください。(図)



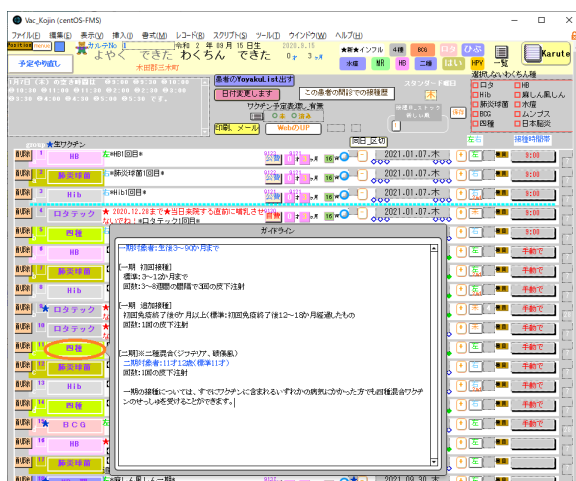
終われば休日や間隔チェックのあるところは日付を修正します。上段のボタンも利用出来ますが、なれるまでは、修正はもう一度「わくちんのメニューに戻り」今度は予約一覧ボタンを押し修正してください。予約Robotでの予約は iPad使用をお勧めしています。ワクチンの規約に従って、医療機関の診察日に入れていくため時間がかかります。Filemaker pro 光回線で2-3分(ローカル2分弱)ほど、FileMaker GoのWiFiで6-9分、iPhone4Gで16分くらいです。作業中はマウスやキーボードを触らないように気をつけてください。途中でスリープモードにならないように **iPad 設定>画面の表示と明るさ>自動ロック15分** など自動ロックの時間をそれぞれで長くしてください。PCの通常業務を妨げないように、**予約作成専用でFileMaker Go**を用いてiPad使用をお勧めしています。

予約Robot 予約ポータルの説明

青枠の部分をクリックするとダイアログが出ます **連続評価**---クリックしたワクチンから下のワクチンの接種日や間隔が評価されます。手動で 直し終わった後ポータルの最初のワクチンをクリックして全レコードを確定させる作業を加える ことをお勧めします。**スタート**---クリックしたワクチンに図のような水色の破線が表示されます。記入---備考に記入ができます。※注意 基本的に表記されているワクチン名や回数記載は 修正あるいは消去はいけません。また記載されている種類の表記を使った表現は避けてください。(回数やワクチンの種類を計算していることがあります。例えば、「2回目は火曜日に」と記載したければ「2カイメは火曜日に」など表現を工夫してください。)(図)



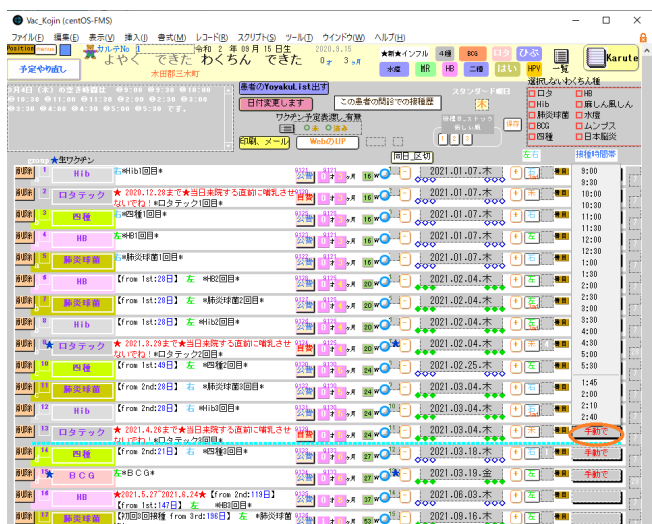
ワクチン部分を押すとガイドラインを出します。編集可能です。(図)



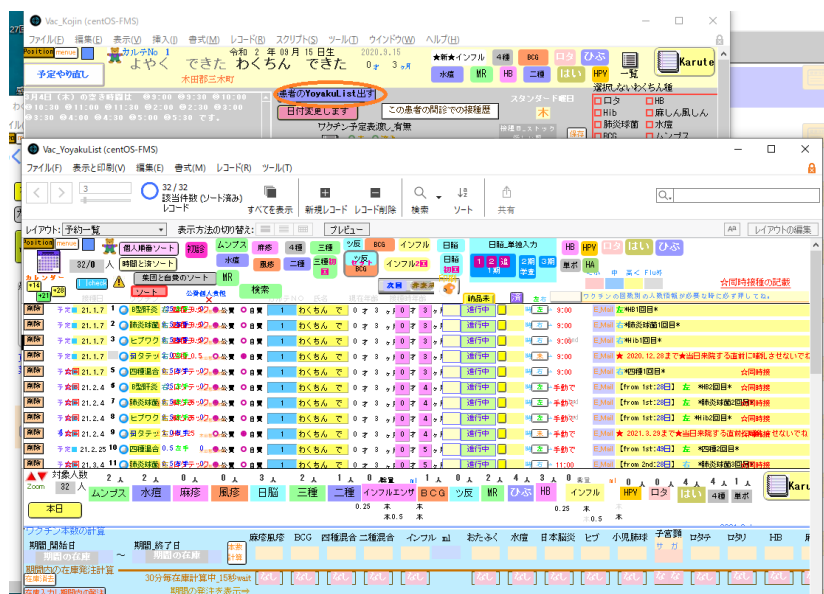
日付の変更 例えばのロタテック3回目は2回目と2週間しか開いていませんので、★
2021.4.26まで★となっていますので3月4日にします。 まずは青枠の部分をクリックしま
す。ダイアログが出ますので「接種日」を押します。接 種日が選択されますので
2021.03.04と入力してください。(図)



時間の選択 続いて時間帯を入力します。時間帯の部分を押して選択してください。
(図)



ポータルで作業するのが苦手な場合は、「患者のYoyakuList出す」を押して患者のワクチン一覧を出してそこで直観的に作業するスタッフもいます。(図)

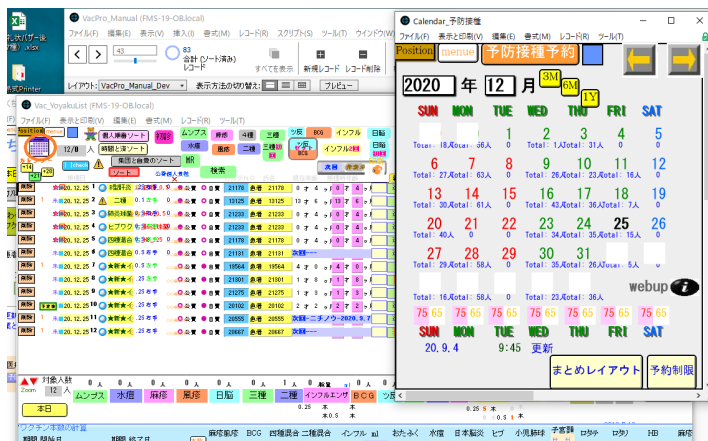


予約個別(通常の予約)

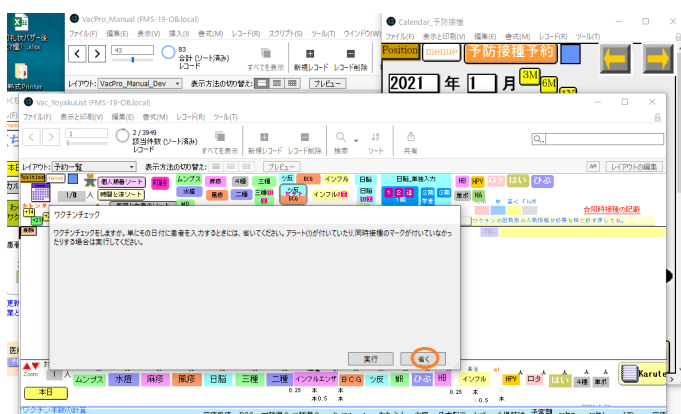
わくちんメニューの「本日予定ワクチン」ボタンを押して、Vac_YoyakuListを 出します。(図)



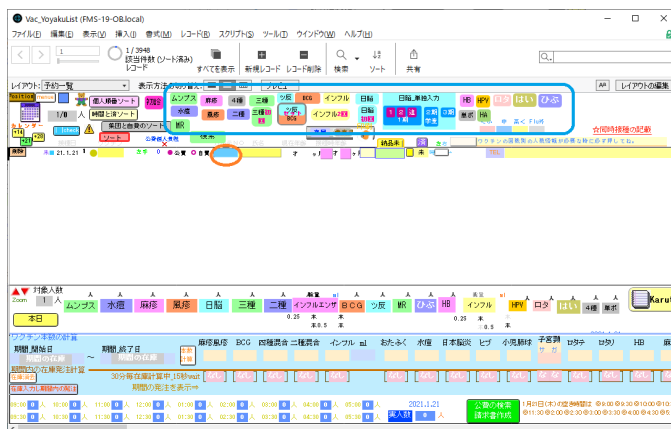
カレンダーアイコンを押してカレンダーを出します。(図)



予約したい日付を出しその日付（今回2021.1.21）を押します。押した後、その日付の対象レコードのワクチンチェックをしようか聞かれます。チェックをしたい場合は「実行」を押してその日付の全てのレコードをチェックさせます（数秒）（その日のすべての患者のレコードのワクチン間隔や年齢がチェックされます。）単に予約のみなどでチェック不要の場合は「省く」を押してください。（図）



赤枠にカルテ番号（今回 1）を入力し、青枠の中からワクチン（今回の例は肺炎球菌）を選んでいきます。（図）



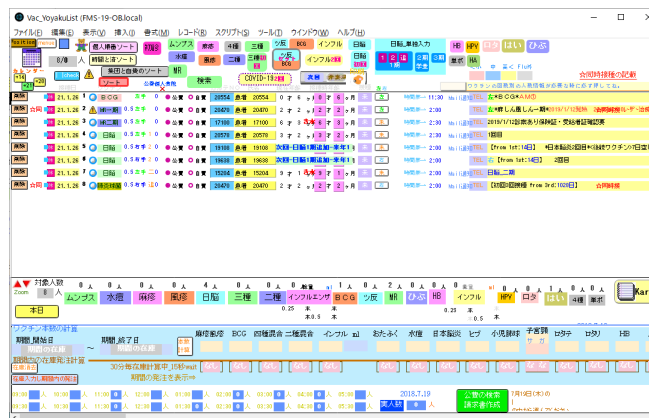
肺炎球菌の間隔が計算されて必要回数分の接種日や備考が入力されました。（図）



他のワクチンも同様に入力出来ます。

<予約一覧の部品の意味>

ある日のワクチン接種状況です。(図)



(左から説明) ◎一番左に削除ボタンがあります。レコード削除をするときはこのボタンを使用してください。◎次の2と8レコード目に「☆同」とあるのはこの日に20470の患者は同時接種があります。◎赤く「休」の字が書いているのはこの日が休診というマークです。(この日は休診日であることを示しています。)(図)



続いて◎接種日。◎レコード番号。◎○マーク、2レコード目の△のアラートマーク。○はワクチンの年齢や間隔に合格したマーク。△はチェックが必要です。押すと何が引っ掛かったのかダイアログが表示が出ます。(そのまま○になるのは日付変更後にチ

チェックがされてなかったものです。) アラートが出ましたので確認します。(場合によってはそのままでもいいこともありますので、スタッフで共有します。)(図)



次の部分の説明です。(図)



(左から) ◎ワクチンの標準接種量 ml ◎左右表示。 ◎回数や追加の表示。 ◎表示「0」の辺りは料金設定(別説明)をしておくで自己負担金額で地域別にできます。 ◎赤い「X」(上半分図では切れています。)は注射当時の地域と患者が転居して地区外に移ったことを示しています。(患者データと予防接種データの住所が異なっている場合に出ます。) ◎患者のカルテ番号 ◎患者氏名 ◎現在年齢 才 ヶ月 ◎接種時の年齢 ◎接種の有無押すとのようにアラートが出ます。(図)



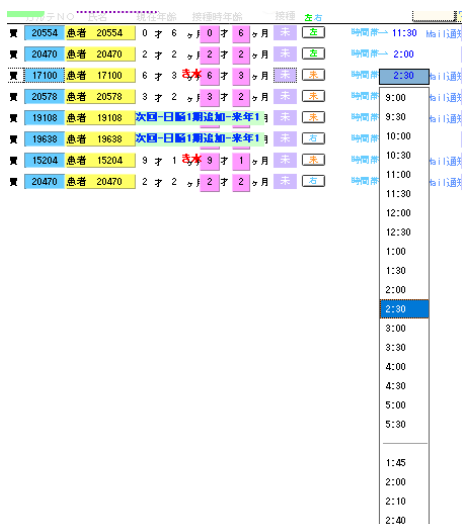
◎左右表示で「2nd」と表示されるものは同側が複数箇所となったときに表示されてい

ますので、例えば2ndは当クリニックでは「大腿外側」などと決めておいてください。

(図)

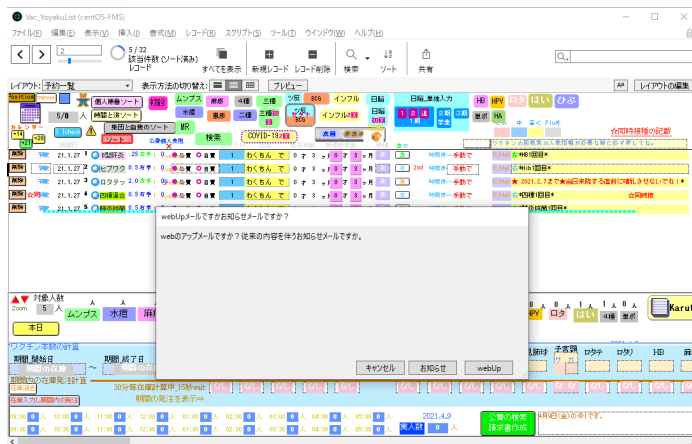


◎時間帯→は押すとドロップダウンで出ますので時間帯を選択。(図)

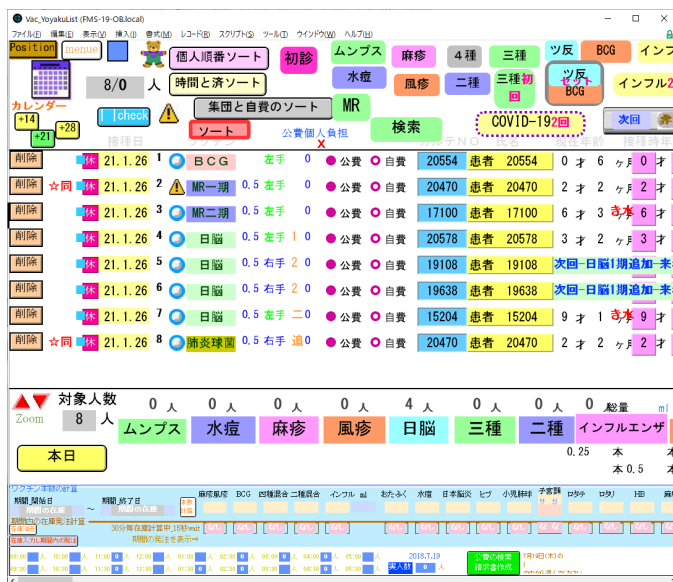


◎「Mail通知」は前日のお知らせメールが送られたときに表示されます。 ◎TELの部分ではEmailがある人は「Email」となっています。押すとダイアログが出ます。

「WebUp」.....患者の予防接種表に記載された胸のメールが送られます。「お知らせ」...営業日前日のお知らせや当日に患者が来なかった場合にメールします。(図)



◎備考。 (左下) ◎「Zoom」画面の拡大縮小ができます。ダイアログで選んでください。(図)

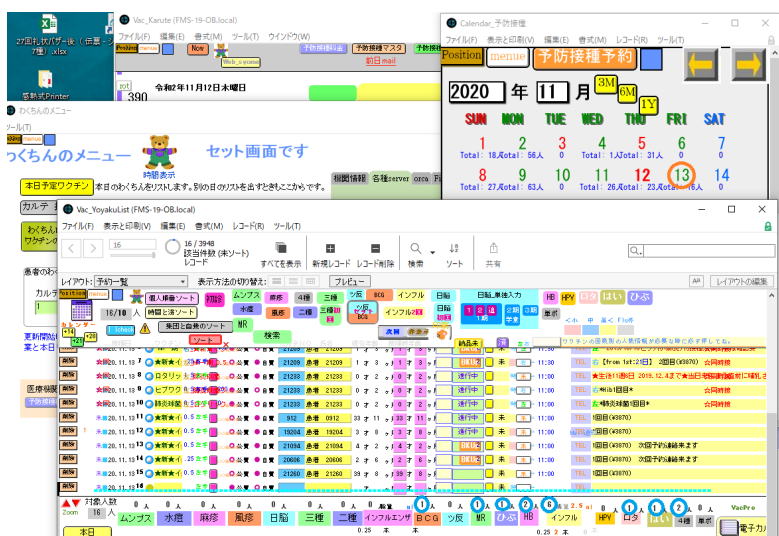


予防接種準備

(前日)

<明日(翌接種日)のワクチンロットの準備> (その1) バッチモードでスキャンする場合 (連続でロットと個数が読めるモード)

接種当日の作業が複雑にならないようにあらかじめワクチンのロットを準備しておきます。 Vac_YoyakuList.fmp12のカレンダーの翌接種日の日にち (例は11月13日) を押した後のリスト表示です。(図)



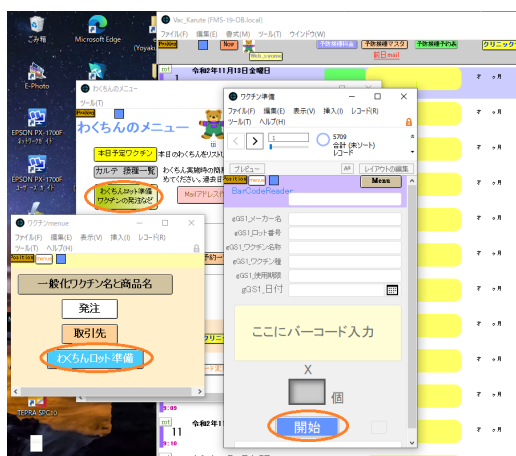
ワクチンは保存の冷蔵庫で1週間分のそれぞれ「月」「火」「水」...と書いたカゴの中に準備するのも、前日に「翌接種日」のカゴを用意するのもいいでしょう。ワクチンのまとめ方はワクチンの数によって医療機関で様々になりますが、「前日に翌接種日のカゴを用意する」にしておきます。画像が暗いですが、曜日の書かれたカゴが見えると思います。(図)



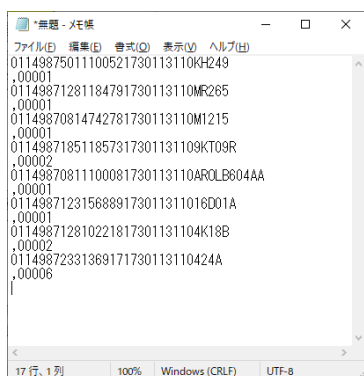
その「カゴ」に準備したその日のワクチンのGS1データコードを全て読み取ります。前述のスキナのバッチモードで一気に読み取ります。写真は例として空のの箱ですが、実際は開封していない箱をスキャンしていきます。(図)



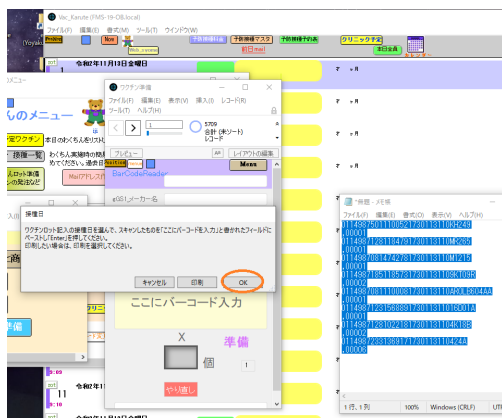
＜カゴの全てのワクチンスキャンが終わったら＞ わくちんのメニューのボタンから
わくちんロット準備ワクチン発注など ＞ わくちんロット準備 ＞ 開始 と進んでいき
ます。(図)



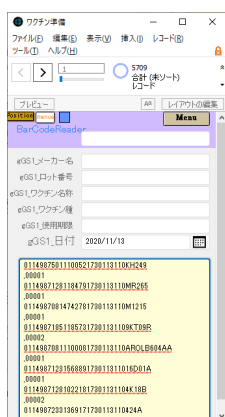
(コツ) 数が少ない場合は直接入力でもいいのですが、スキャン台にずれて乗せたり、カーソルが外れてしまったりがあるので、メモ帳などにカーソルを入れ、ここにスキャンの入力値を入れて失敗を避けていました。(図) コピー＆ペーストでバーコードを入力します。(図)



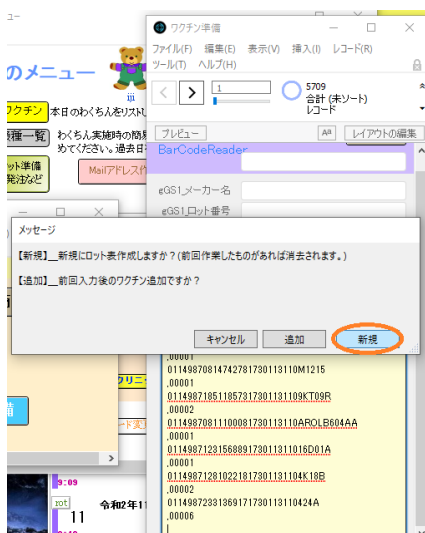
開始ボタンを押した後はダイアログが現れます。「OK」を押します。(図)



スキャンした日付をカレンダーで選び、先ほどのデータをペーストし、ENTERを押します。(図)



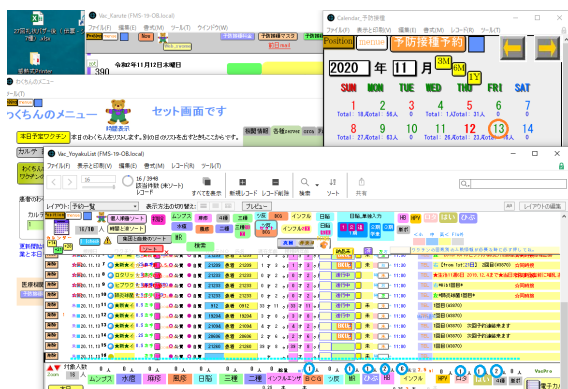
この際同日のスキャンデータがあるとダイアログが出ますので選択します。その後印刷を指示してください。(図)



控えの翌接種日のロットの印刷が出ました。接種日当日に追加が出たりロットを変更する場合は、「当日個々でロットを入力する」を参照してください。

<明日(翌接種日)のワクチンロットの準備> (その2) ロットのミスキャンする場合(個数は読まないモード)

接種当日の作業が複雑にならないようにあらかじめワクチンのロットを準備しておきます。まずはVac_YoyakuList.fmp12のカレンダーの翌接種日の日にちを押し、リスト表示します。(図)

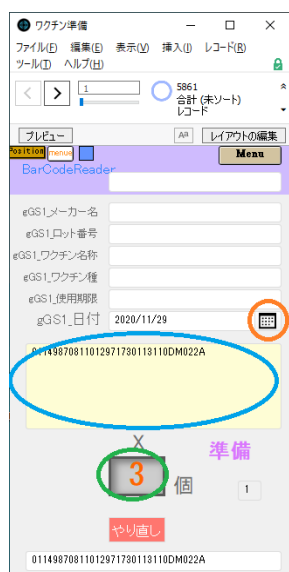


ワクチンは保存の冷蔵庫で1週間分のそれぞれ「月」「火」「水」...と書いたカゴの中に準備するのも前日に「翌接種日」のカゴを用意するのもいいでしょう。ワクチンのまとめ方はワクチンの数によって医療機関で様々になりますが、「前日に翌接種日のカゴを用意する」にします。画像暗いですが、曜日の書かれたカゴが見えると思います。(図)

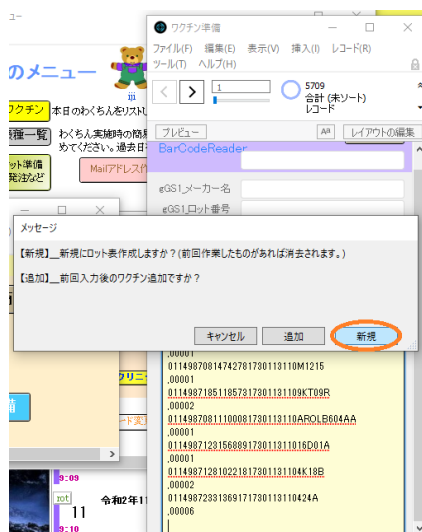


ロットのミスキャンはロットが同じのものは個数を手入力しながら進めていくパターンです。(図)

合わせスキャンします（バーコードが入ります）（青）、個数が2個以上の場合は個数を入力します。（1個は省略可です。）（緑）ここでENTERを押します。（図）



この際同日のスキャンデータがあるとダイアログが出ますので選択してください。（図）



その後 印刷を指示してください。控えの翌接種日のロットの印刷が出ました。

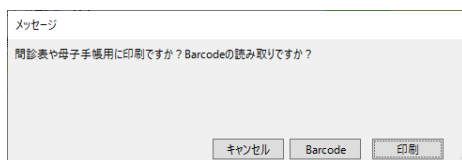
接種日当日に追加が出たりロットを変更する場合は、「当日個々でロットを入力する」を参照してください。

<当日 個々でロットを入力する>

当日診察の終了した患者で接種待ち（緑の矢印）になっています。画面の中ほどの、わくちんできたちゃんが当日飛び入りでロタリックスを飲むことになり、その後に来た、患者 21233のロットの入力値が無くなり入力できていません。その患者のレコードの左上のrotボタンをクリックします。（図）



ダイアログが出たらBarcodeを押してください。(図)



そうするとポップオーバーが出ます。(図)



この患者に使用するロタリックスのロットを1個のみスキャンし、バーコード読み取りにカーソルが点滅した状態でスキャナー台に乗せてください。自動で読み取られロットが入力されました。(図)



(当日)

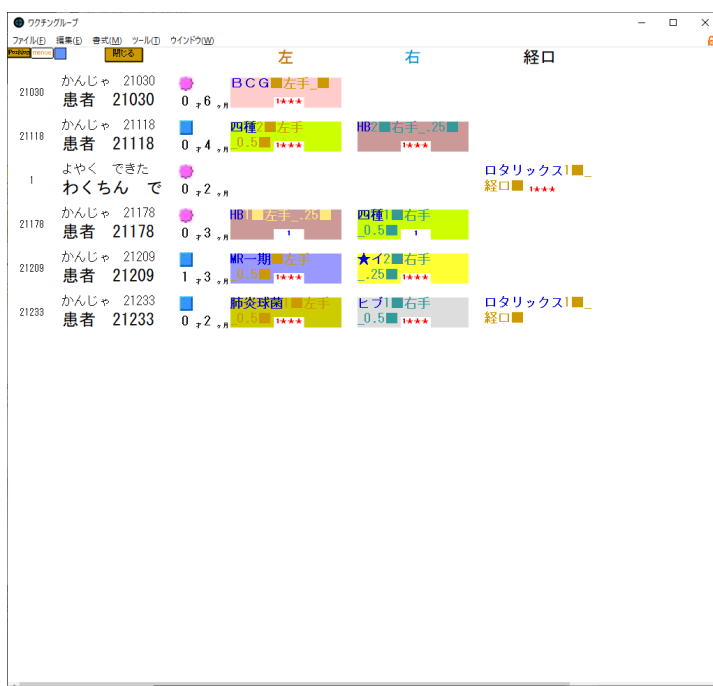
注射の準備をして、接種していく(ナースの画面)

診察済みの患者が増えて、医療機関で決めた人数に達したり、あるいは待つ時間が長

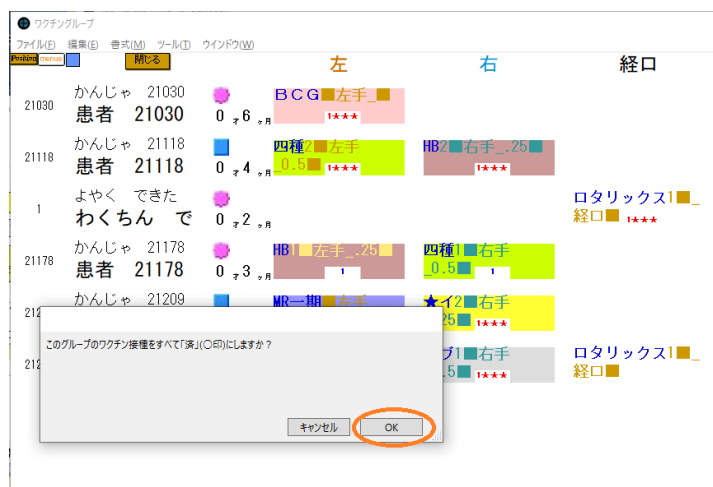
くなるような場合は、グループの最後の人に矢印ボタンを付けます。赤丸の矢印を押すと、そのレコードの90番の下に区切りを表す緑のバーが出現します。(図)



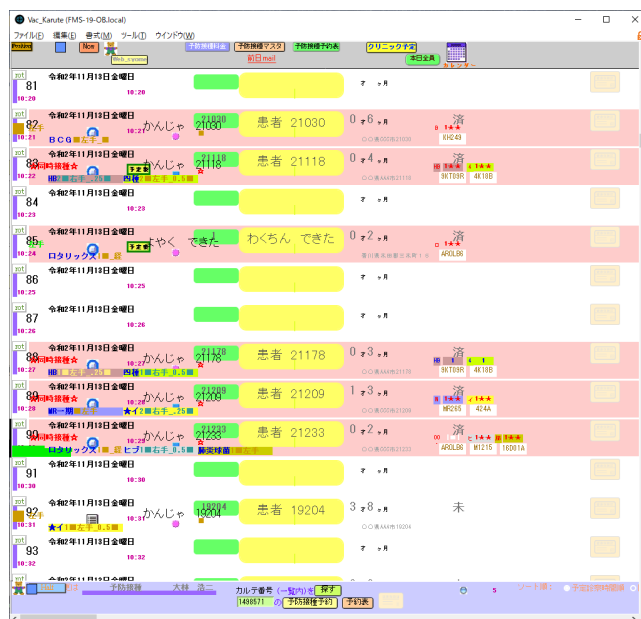
この緑のバーを押すと、注射の準備画面が出ます。(図)グループの全てのワクチンを準備出来たら、接種してください。



接種が終われば上段にある閉じるボタンを押します。全ての患者に済みボタンを付けるためOKします。(図)

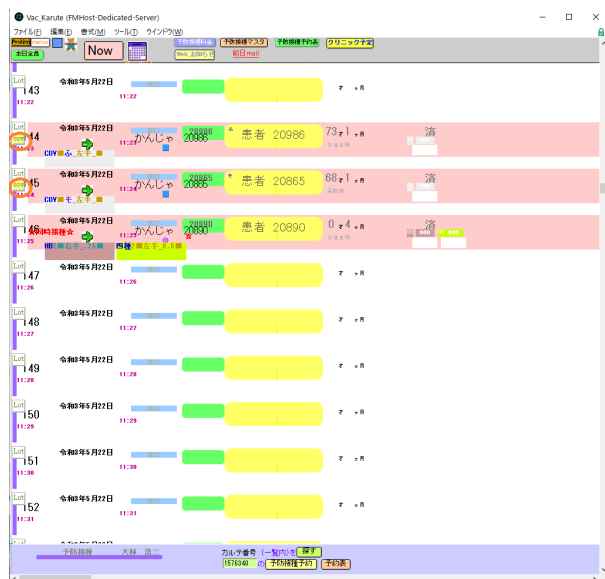


グループの矢印が全て〇に変わります。(〇はワクチンの接種終了です。)(図ワクチン矢印を押しても〇に変化します。)



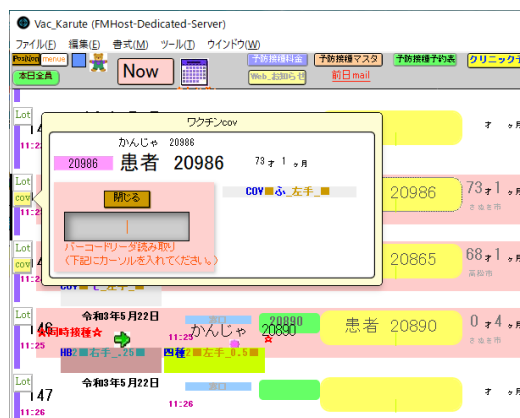
新型コロナワクチンの手順 クーボンスキャン

3つのレコードは診察が終了した患者です。上の2レコードは新型コロナワクチン（上はファイザー、下はモデルナ）の患者のため、赤丸の「VRS」ボタンが出てきています。（図）

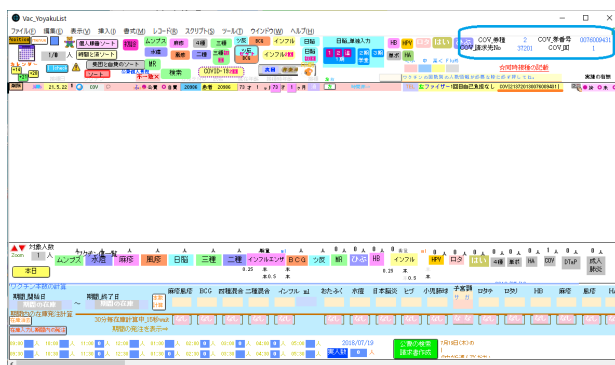


※ワクチン接種記録システムVRS 新型コロナワクチンの際に、自治体が独自でばらばらに記録していた予防接種記録を一つにするため、官邸主導のDXとして始まった記録システムです。コロナワクチンからバーコードの付いた接種券が配布されるようになっていきます。当ワクチンProでもこのシステムを将来的に使えるようにしています。

ボタンを押すとポップオーバーが出ます。接種券のバーコードをスキャンしてください。スキャンが終われば終了ダイアログが出ますので「OK」します。（図）



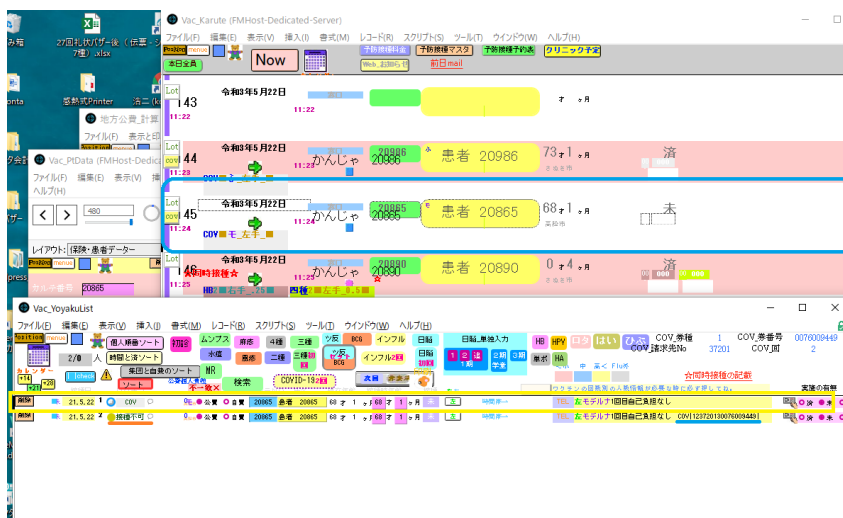
Vac_YoyakuListを見ると、備考にクーポン番号と実際にはレイアウトにないですが、青枠のように必要事項が入力されました。（図）



診察したが接種出来ない場合は、一旦診察終了にした後に出来ない方のコードをスキャンします。接種不可の料金が取れる様に「OK」してください。(図)



患者の予防接種可能のマークははずれて (青枠)、Vac_YoyakuListを見ると、下のレコードに接種不可と備考に接種不可のコードが入力されています。上の黄色枠のレコードは延期の場合用です。新しい日付を入力してください。(図)



予測から予約

作者が25年間の開業医時代にした9万件のワクチンを元にしてしています。過去の予防接種状況やVac_kojinに記録された問診を加味して「Data予測」され、その日付で考えられるワクチンをリストアップします。

例えば、カレンダーで日付を選択します。例では2021年3月1日を選択しています。カルテ番号 20740 を入力しました。(図)



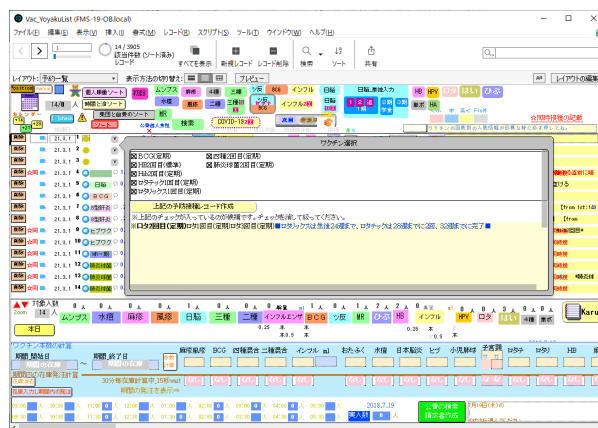
その日付で考えられるワクチンを予測してもらいます。ワクチンを選択していない行にはワクチン入力部位の右横に「V (Vaccine)」ボタンが現れますので押します。(図)



ポップアップが出ます。上半分は最初の元のワクチン選択、下半分にワクチンの注意事項が出ます。上半分を選択すると同ワクチンで必要のない回数を取り除かれます。同時ワクチンを、チェックをはずして選択します。BCGとロタテック1回目を外しました。(図)



その後真ん中の「上記の予防接種記録作成」を押します。(図)



チェックの入った5レコードが出来ました。(図) (再ソートのため順番は変わっています)



公費請求

公費請求はVac_YoyakuList.fmp12から出発します。「公費の検索請求書作成」を押します。ダイアログが出ますので「請求書」を押します。(図)



請求書が必要な市区町村を記入し進めます。(図)

公費市町村名入力

公費の市町村名を記入してください。デフォルトはメインの市町村になっています。

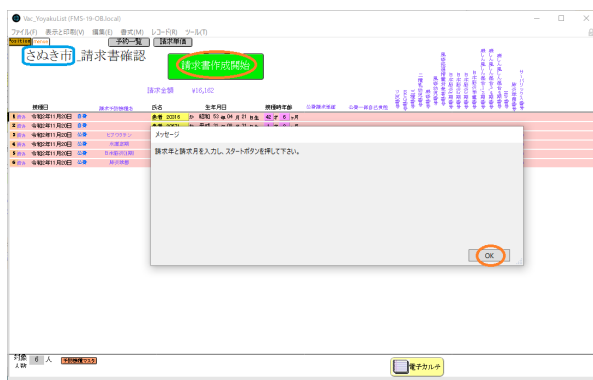
公費市町村名

さぬき市

キャンセル

OK

次のような画面が出ますので、表題が「さぬき市_請求書確認」と変化している事を確認して、「請求書作成開始」を押します。(図)



請求年と月のダイアログが現れます。入力しスタートボタンを押します。(図)

Vac_YoyakuList (FMS-19-OB.local)

ファイル(F)

表示と印刷(O)

編集(E)

書式(M)

レコード(R)

ツール(T)

さぬき市の請求書印刷作業を開始します。

下のフィールドを入力しスタートボタンを押して下さい。

請求年

2020

年

請求月

11

月

スタート

次の画面になりますので印刷してください。(図)

予防接種実施請求明細書 さぬき市

令和2 年 11 月分

請求額 ¥136,920 総人数 19 人

接種券番号	接種日	接種種別	接種回数	接種料	接種料
1	令和2年11月13日	麻疹	1	¥10,700	¥10,700
2	令和2年11月14日	麻疹	2	¥10,700	¥10,700
3	令和2年11月14日	麻疹	3	¥10,700	¥10,700
4	令和2年11月15日	麻疹	4	¥10,700	¥10,700
5	令和2年11月15日	麻疹	5	¥10,700	¥10,700
6	令和2年11月17日	麻疹	6	¥10,700	¥10,700
7	令和2年11月17日	麻疹	7	¥10,700	¥10,700
8	令和2年11月17日	麻疹	8	¥10,700	¥10,700
9	令和2年11月17日	麻疹	9	¥10,700	¥10,700
10	令和2年11月17日	麻疹	10	¥10,700	¥10,700
11	令和2年11月17日	麻疹	11	¥10,700	¥10,700

印刷しますか?

印刷しますか?それともPDFファイルで保存しますか?

キャンセル PDF 印刷

同様に市区町村毎に作成します。印刷した請求書は、問診票とそれぞれの接種数が合うか確認し、自治体が指定した表紙を別に作成し一緒にして綴じます。

公費請求書のための市区町村の公費項目に合った計算式の編集

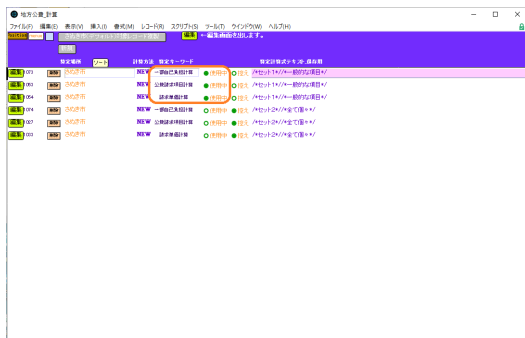
Vac_YoyakuList.fmp12の「公費の検索請求書作成」を押すとアラートが出ますので、「計算式」を押します。(図)

目的は

公費請求書の作成ですか?それとも、それぞれの市区町村に合った請求項目の計算式作成ですか?

キャンセル 計算式 請求書

自治体に合った公費請求項目や請求単価計算や一部自己負担が右のフィールド(算定計算式テキスト_保存用)を元に、後述のフィールド計算で使用されています。使用中のものが実際に使用される計算式です。(図)



予防接種予約_TABLEのフィールド【請求予防接種名】

If (IsEmpty (公費請求_請求名_計算式::連番) = 0 ; Evaluate (公費請求_請求名_計算式::算定計算式テキスト_保存用); "請求名不明")

予防接種予約_TABLEのフィールド【公費請求単価】

If (IsEmpty (公費請求_単価_計算式::連番) = 0 ; Evaluate (公費請求_単価_計算式::算定計算式テキスト_保存用); "0")

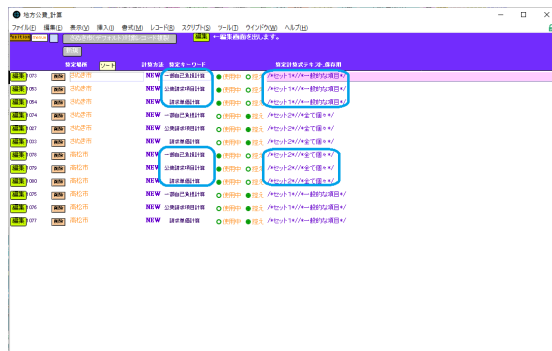
予防接種予約_TABLEのフィールド【公費一部自己負担】

If (IsEmpty (公費請求_一部自己負担_計算式::連番) = 0 ; Evaluate (公費請求_一部自己負担_計算式::算定計算式テキスト_保存用); "0")

でそれぞれ**Evaluate関数**にて 算定キーワードの「公費請求項目計算」の算定計算式テキスト_保存用をもとに【請求予防 接種名】が計算され、 算定キーワードの「請求単価計算」の算定計算式テキスト_保存用をもとに【公費請求単 価】が計算され、 算定キーワードの「部自己負担計算」の算定計算式テキスト_保存用をもとに【公費一部自 己負担】が計算されるようになっています。

セット 1 の公費請求項目計算と請求単価と一部自己負担を組み合わせで使用します。（セッ ト 2 も同様組み合わせです。）公費請求項目計算で公費請求項目を設定し、請求単価計算でその項目に合わせ請求額、一部自己負担計算でその項目に合わせ一部自己負担が表示される仕組みになっています。算定場所により計算式セットを別にしてもそれぞれの自治体で計算されるようにします。

たとえば(図)ではさぬき市はセット 1 が高松市はセット 2 が適応されます。



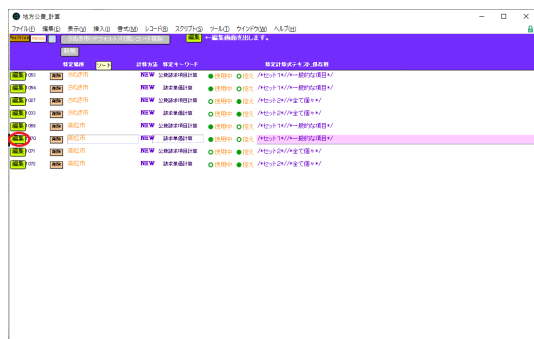
ファイルメーカーの計算式に慣れている方は、次項の「実際の計算式の編集と確認」に編集の仕方がありますので編集画面を利用してください。上手くいけない場合は、全ての市区町村でセット2の組み合わせで「使用中」にしますと、ワクチン毎に集計されます。市町村に合った請求項目で合計して表紙調整します。

実際の計算式の編集と確認（1章27項も参照して下さい。）

Vac_YoyakuList.fmp12の「公費の検索請求書作成」を押すとアラートが出ますので、「計算式」を押します。(図)



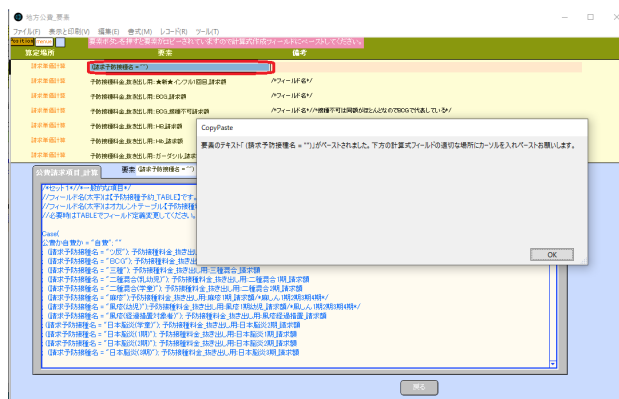
例として高松市の請求単価計算を編集します。編集ボタンを押します。(図)



計算式編集画面が開きます。この式が実際のフィールドがEvaluate関数で計算されるようになっています。青色で囲ったオレンジのボタンは必要な部位にカーソルを合わせた部位に表示の記号が入ります。(図)



赤色の「要素追加」ボタンを押すと、次の画面が現れますので、追加要素を探して要素を押すとダイアログが現れます。コピー＆ペーストで必要な場所に貼り付けてください。自分で定義した足りない要素は追加してください。(図)



編集が終われば「貼り付け」の矢印を押してください。上手く計算されると構文確認されます。(図)



期間のワクチン本数を求め発注する

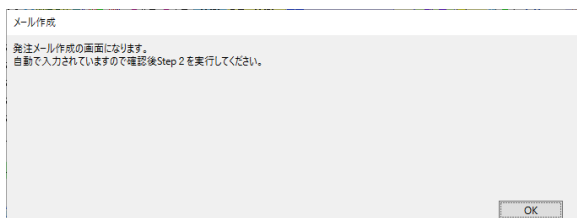
Vac_YoyakuList.fmp12の下段を使用します。まずは現在の在庫数を入力します。（入力前に前回データが残っていたら、在庫消去 ボタンを利用）例ではインフルエンザの100本の在庫が入力されています。期間の使用量を 出すために期間_開始日と期間_終了日を入力します。次に本数計算ボタンを押します。（図）



その期間に必要なワクチンの数が表示されています。例のインフルエンザは100本の在庫があり足りない本数が71本と出ます。このままで良ければ「在庫入力し期間内の発注」ボタンを押します。（図）



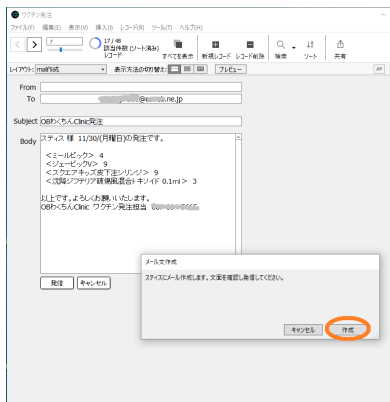
ダイアログが出ますのでOKを選択します。（図）



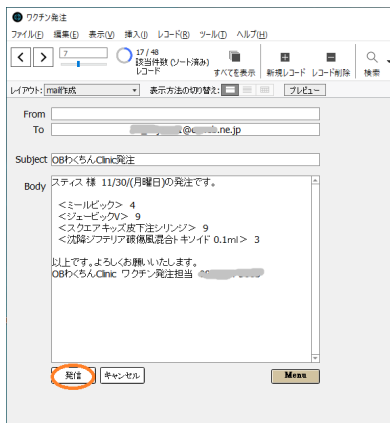
先ほどの発注数が表示されています。続いて「Step2発注メール作成」ボタンを押します。（図）

発注メール作成						最新日付の注文商品名	Menu
商品	区分	発注数	ワクチン・備考	2020/11/30	発注先		
痛しん風しんワクチン	ステイス	4	ミールビック	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
日本風炭ワクチン	ステイス	9	ジェーベック	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
西舞炭合ワクチン	ステイス	9	スクエアキッズ炭下注シリンジ	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
二種炭合ワクチン	ステイス	3	沈降シリアリア炭風炭混合トキソイド 0.1ml	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
Hibワクチン	ヨウコウ	10	アタビ	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
ロタリックス	ヨウコウ	7	ロタリックス	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
ロタテック	ヨウコウ	0	ロタテック	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
インフルエンザワクチン	ヨウコウ	0	インフルエンザ	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
Hibワクチン	ヨウコウ	5	ロタリックス	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
肺炎球菌ワクチン	プレッサ	11	プレッサ	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
BCGワクチン	プレッサ	2	BCG	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
痛しんワクチン	ワクチン	0	ワクチン	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
おたふくかぜワクチン	ワクチン	1	おたふくかぜ	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
水痘ワクチン	ワクチン	3	水痘	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
風しんワクチン	ワクチン	0	風しん	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
サーバリックス	ステイス	0	サーバリックス	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	
ガダシス	ステイス	0	ガダシス	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	

発注メール作成になります。ダイアログで「作成」を押すと下の作成に入ります。（「キャンセル」を押すこの場合はステイス様に対するメールは送られません。）(図)



「発信」を押すと本日付けで発注メールが送信されます。発注が必要な会社が次々出ますので作業を繰り返してください。(図)



メールが終わればダイアログが出ます。控えの印刷がほしい場合は印刷してください。(図)

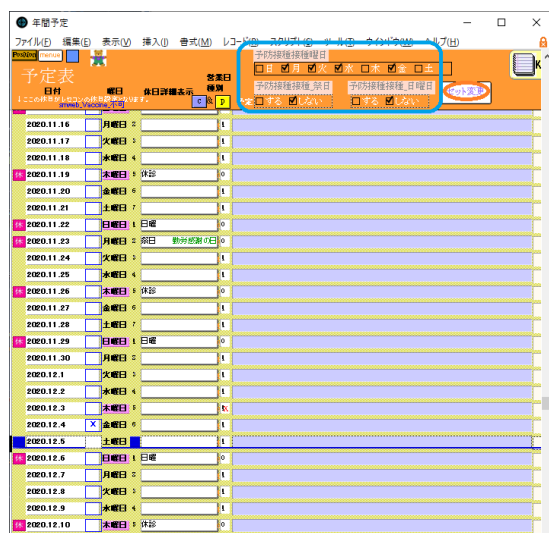
時々の作業

<医療機関の接種日をする曜日などを変更する。>

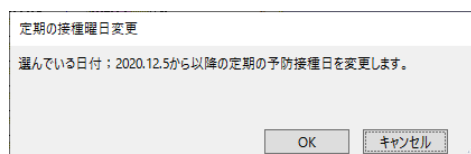
わくちんのメニューの「クリニック予定」を押します。(図)



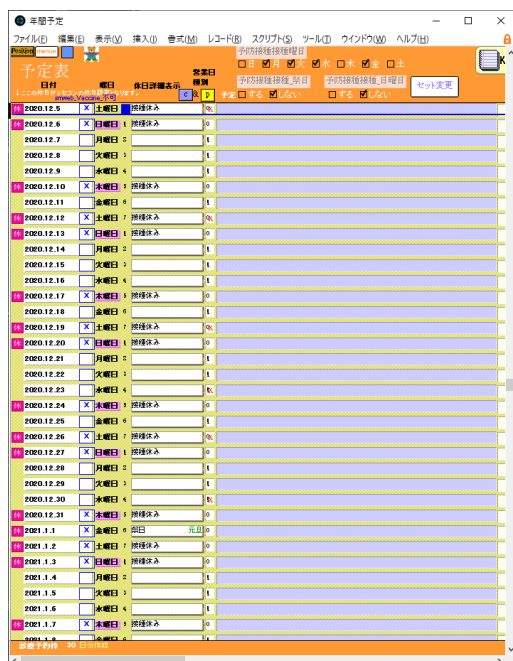
予定表が現れます。上段の青枠をセットします。たとえば接種日を、月火水金にします。祭日と日曜日をするしないも設定します。終われば、変更したい日付を選んで、「セット変更」ボタンを押します。(図)



ダイアログが現れますので良ければ「OK」を押します。(図)

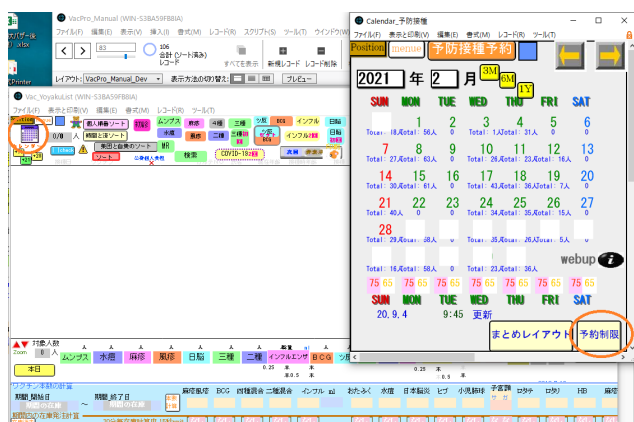


スタートの日から設定した通りになりました。(図)



<医療機関のWebDirectでの時間枠を設定する>

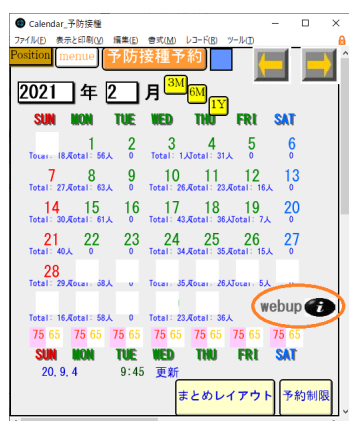
予防接種予約一覧のカレンダーを開け、「予約制限」をクリックします。(図)



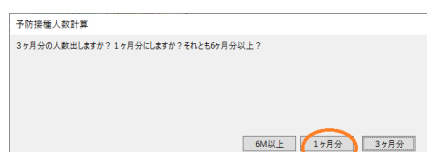
曜日と時間毎の受付可能と人数をセットします。青枠は月曜日の11:00～11:30は受付可能「1」で人数は「5」人を意味します。赤枠は木曜日の2:00～2:30は受付不可能「0」で人数は「5」人を意味します。(受付不可能が優先します。)(図)



セットが終われば「カレンダー」アイコンを押して戻ります。
 カレンダー右下の「webup i」を押します。(図)



ダイアログがでますのでここでは「1ヶ月分」を選択しました。(図)



1ヶ月分の予約の予防接種 人数が計算され, Vac_publicに予約の出来る時間と人数が渡されます。最後にダイアログが出ますので「元に」を選らんで戻ります。

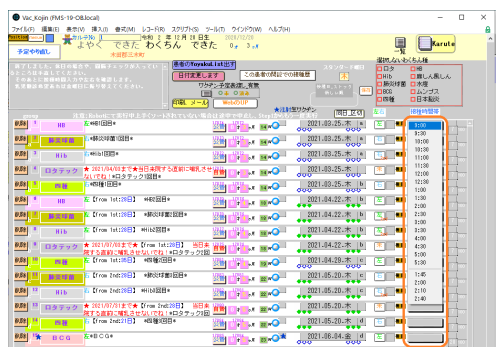
<接種時間>

接種時間の設定 デフォルトの変更

特別な設定をしていない場合は、接種時間は「」（空白）か「手動で」になっています。
 (図)



ポップアップメニューになっていますのでクリックすると時間がポップアップされますので、選択してください。(図)



同日のワクチンは同じ時間になります。(図)



当初は「手動で」になっていますが、設定を変えたいときはVac_KojinのSCRIPT
 「【わくちん】接種時間_step2_時間選択機能_【医療機関 優先時間帯設定】」で変更します。

<内科仕様レイアウト>

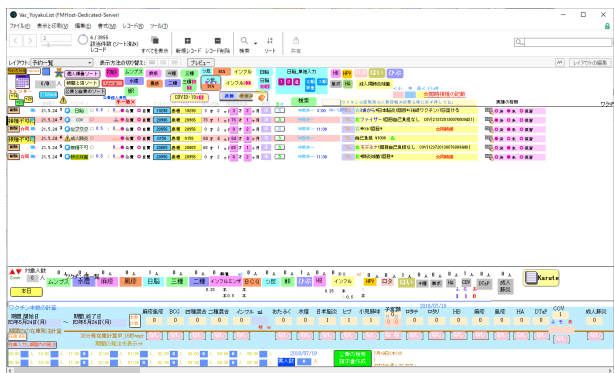
内科の先生は、新型コロナ、成人用肺炎球菌、インフルエンザがメインになるので、この種のボタンを左に配置させるための設定を作っています。

わくちんメニューの赤枠にチェックボックスがあり、「小児科仕様」「内科仕様」を施設毎に選択します。(図)

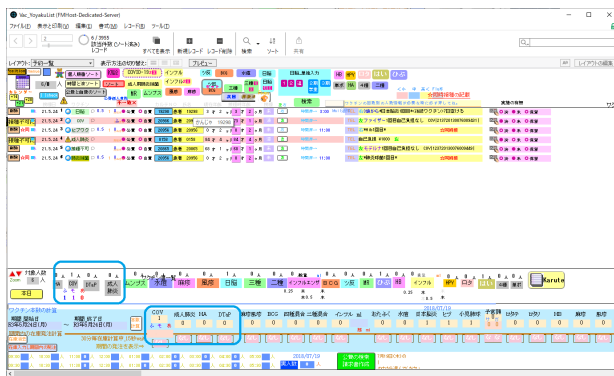


Vac_YoyakuListでのボタン配置

「小児科仕様」(図)



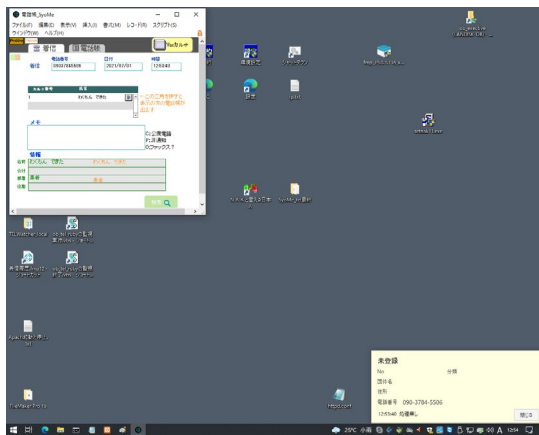
「内科仕様」上記のワクチンが左に配置されています。(図)



<電話着信機能>

(ひかり電話)

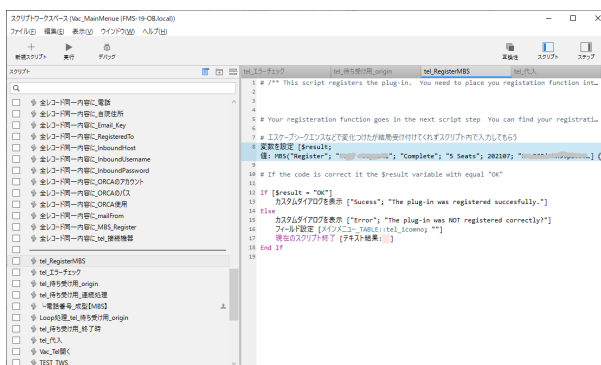
ガンジスのCTIを利用します。着信があったときのガンジスがインストールされている画面を示しています。(図)



左上が、Vac_Telの現在の着信データです。右下はガンジスデータのデータベースでのポップアップになりますが、ここではガンジスでのデータ登録はありませんので電話番号のみ表示となります。

(ISDN)

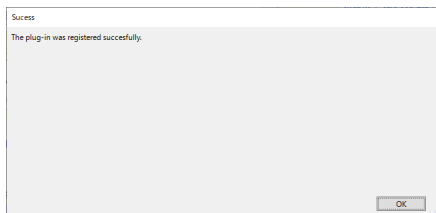
ターミナルアダプタとUSB接続しているクライアントで ファイル Vac_Telにて スクリプトワークスペース>tel_RegisterMBS(図)



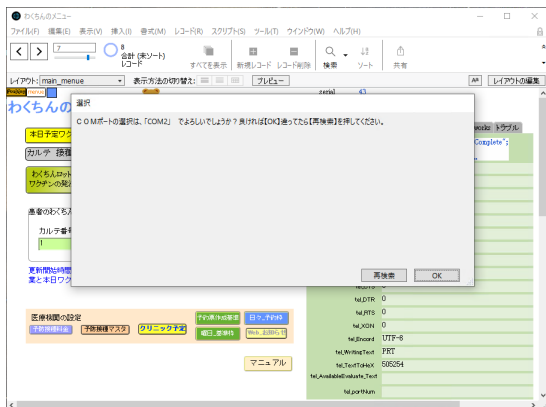
入力_MBSRegisterに規則に従って (MBSプラグイン参照) MBS("Register"; "Name"; "Window"; "5 seats"; 200803;111111111) の形式で()の中の内容を埋めます。(準備 MBSプラグインを参照) SerialPortボタンを押します。(図)



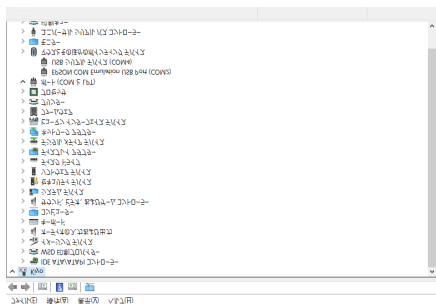
プラグインの登録に成功している旨のダイアログが出ます。(失敗したときはここで止まります。)
「OK」を押します。(図)



使用できるポートを大きい順に探していきます。(図)



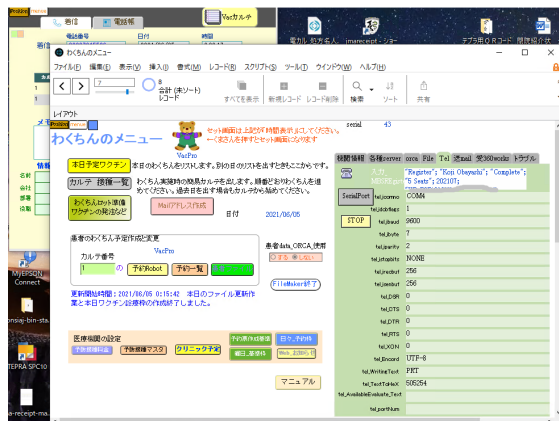
Windowsではデバイスマネージャーを開くとポートの所に出ていますので、そのポートが出るまで再検索します。(この場合はCOM4) ※分からない場合は順番に携帯電話など他の電話から施設の電話にかけて確かめます。(図)



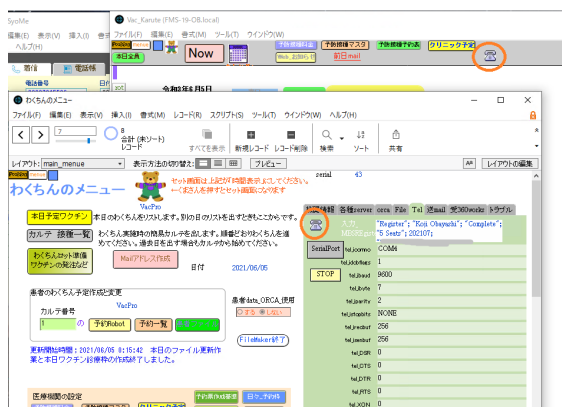
着信を待つモードになります。(図)



電話がかかるとうしろに隠れている着信画面が前面に出ます。(図)

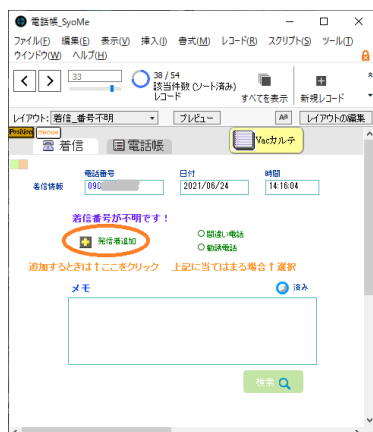


他のクライアントで「わくちんのメニュー」かVac_Karuteの電話ボタンを押すと未登録や登録に従って画面が出ます。(図)



(ひかり電話とISDNの両方)

未登録の場合 電話ボタンを押したとき、着信番号不明の画面が現れます。間違い電話や勧誘電話は右の該当の項目にチェックを入れます。発信者番号を電話帳に追加して、次回に表示させたいときは赤枠の発信者追加のプラスボタンを押します。(図)



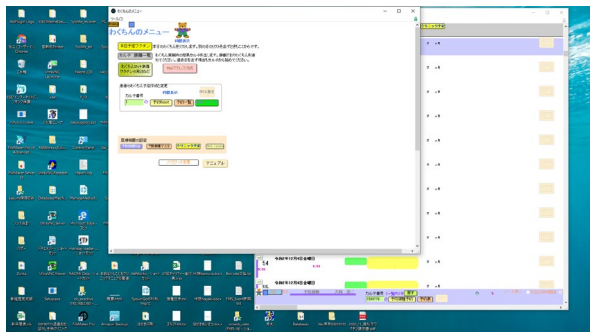
上段（青枠）の青枠は患者以外の（たとえば業者など）の電話登録です。必要事項を記

入して上段の追加_プラスボタンを押します。 下段（緑枠）は患者の登録です。カルテ番号を入力し、プラスボタンを押します。(図)

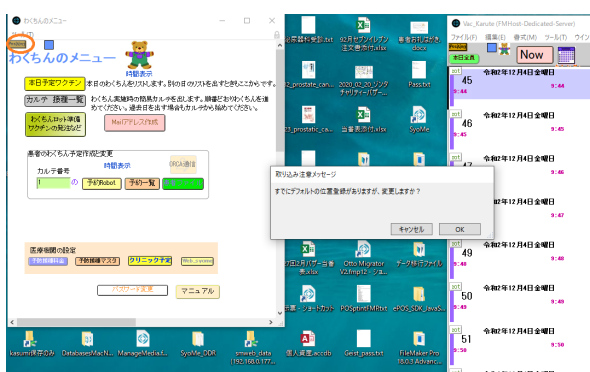
たとえば、患者番号10000を登録した場合です。(図)

登録済みの電話帳が開きます。上記(青枠)を使うと左の予防接種ボタンで、患者の登録済みの予防接種が出て、新しい予約が出来ます。兄弟姉妹 は保険記号番号でまとめられたものが一覧になっています（緑枠）ので利用してください。(図)

positionボタンはその人が使いやすいウインドウの位置や大きさを記録しておくことが出来ます。次のオープン時にはアカウント毎にそのウインドウで好みの位置と大きさに表示されます。次ように表示されていたとします。(図)



右のカレンダーウインドウに重ならないように左上に 持って行きpositionボタンを押します。初めての時は何もなく記録されますが、2回目以降はダイアログが出ます。「OK」を押すと次回からそのウインドウはその位置に固定されます。(図)



menuボタン 使用できるメニューを出す

menuボタンはアクセス権で制限されたメニューを出します。完全アクセス権で はすべてフリーとなりますのでレコード削除、全レコード削除、全置換など出来ますので慎重に作業するようにしてください。初期の画面でメニューの位置にはツールしかでていません。(図)



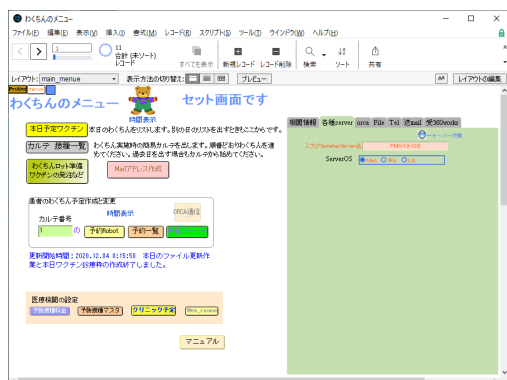
menuボタンを押すと使用できるメニューが出ます。(図)



青い■ボタン ステータス出す
初期の画面です。(図)



■ボタンを押すと使用できるステータスが出ます。(図)



第7章 ワクチンサイト

ホームページ https://ホスト名/fmi/webd/Vac_WD_public

ワクチンProでは、FileMakerのWebDirect機能を使用してVac_WD_publicを通常のブラウザで公開出来るようにしています。当サイトではデフォルトで 1. メール会員の登録変更 2. Web予約 3. あなたの予防接種 4. クリニック情報 5. 現在の求人 5つの部門を扱っています。(図)



1. メール会員の登録変更 患者側からのメールの登録や変更サイトです。個人のメールがアカウントして登録され、パスワードが個人で管理出来ます。
2. Web予約 設定（当日内や1週間以内といった設定）の日付内で接種日の日付時間が予約変更出来ます。
3. あなたの予防接種 患者さん自身の予約や接種履歴を見ることが出来ます。
4. クリニック情報 クリニックからのお知らせ、診療案内、クリニック紹介ページが表示出来ます。
5. 現在の求人 サイトでの求人コーナーを作っています。

※注意 WebDirectで表示するので、サーバに負担がかかります。医療機関に合わせてVac_WD_publicのレイアウト変更必要ですが、凝ったレイアウトにしないようにお願いします。

メール会員の登録変更

メイン画面の「メール会員の登録や変更」をクリックします。(図)



カルテ番号、ひらがなで氏名、メールアドレス、生年月日を入力し「登録」を押します。
(図)

「送信されました。確認し、入力 of メールアドレスに返事差し上げます。」の表示が
出ます。これで登録完了です(図)。

サーバサイドスクリプトでメールの確認をして、返事が発信されます。(デフォルトでは
3分毎) (図)

差出人: [redacted]@gmail.com
日時: 2020年12月19日 10:42:18 JST
宛先: [redacted]@[redacted]
件名: メールアドレス受け取りました。

☆☆☆ー☆☆☆
FMわくちゃんClinic
☆☆☆ー☆☆☆

わくちゃん、できた ちゃんのメールアドレスの変更あるいは更新をさせていただきました。??ありがとうございます。
適切な時期に、予防接種や乳児健診など情報を、よやく、できたちゃんにおくらせていただきます。
このメールは発信専用です。返信は出来ません。

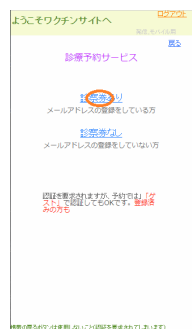
<syori用>[r_title]メールアドレス受け取りました。[r_title][r_karuno][1r_karuno][r_hiragana]よやく、でき
た[r_hiragana][r_mail] [redacted]@[redacted] [r_mail]</syori用>

Web予約

メイン画面の「Web予約」をクリックします。(図)



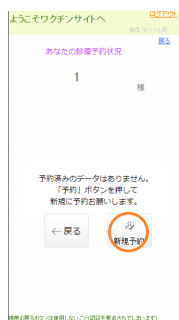
診察券ありを押します。(図)



カルテ番号と生年月日を入れて次へを押します。(図)



新規予約を押します。(図)



予防接種外来を押します。(図)



空いている時間が表示されています。16時台を押してみます。(図)



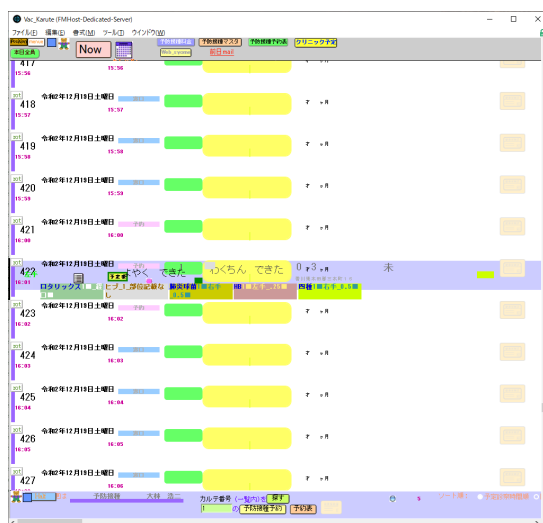
16時台の空いている時間が表示されています。16:01を押しました。(図)



予約日と予約時間の表示が出ました。終了です。(図)



設定にしたがってカルテに反映されています。(図)

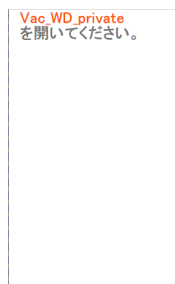


あなたの予防接種

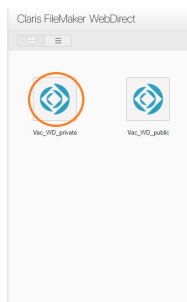
メイン画面の「あなたの予防接種」をクリックします。(図)



Vac_WD_privateを開いてください。と表示が出ます。(図)



数秒後にWebDirectの表示が出ますでVac_WD_privateを押してください。(図)



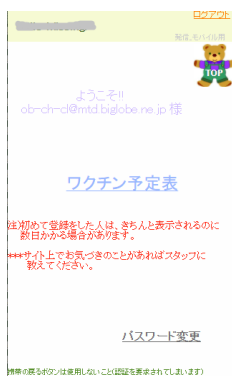
設定したアカウントパスを入力してください。最初はアカウントパスともに初回登録時のメールアドレスです。(図)



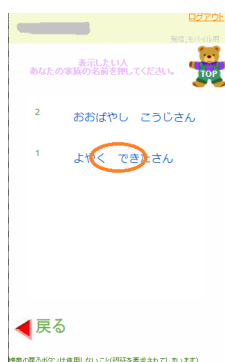
初めての時には「パスワード変更」が出ます。(図)



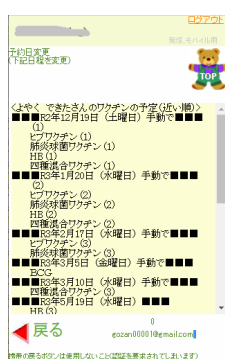
ワクチン予定表を押します。(図)



同じアカウントパスで登録した兄弟も出ています。該当の患者を押します。(図)



患者の予定表が出ました。(図)



クリニック情報

レイアウト変更してください

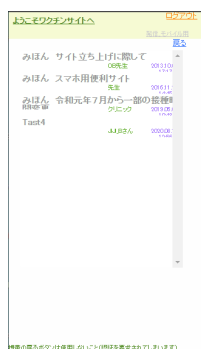
メイン画面の「クリニック情報」をクリックします。(図)



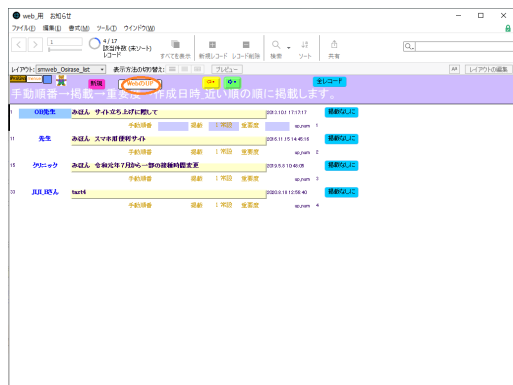
クリニック情報の画面になります。例としてお知らせ、診療案内、クリニック情報などのボタンがあります。(図)



お知らせ画面を開くと、お知らせのリストが開きます。(図)



頻繁に変更が必要なコーナーですので、「わくちんのメニュー」のWeb_お知らせを開いて編集してください。編集が終わればWebのUPを押すと、設定の時間後（初期3分後）に反映します。(図)



診療案内、クリニック情報の医療機関に合わせてレイアウト変更をお願いします。

現在の求人

レイアウト変更してください

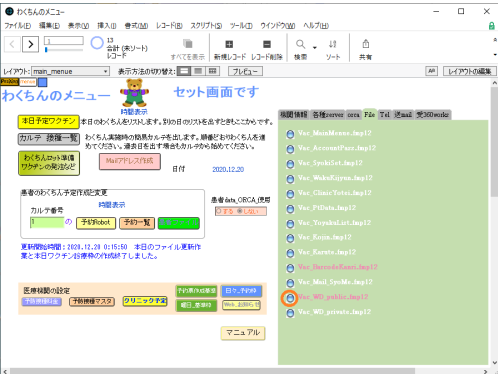
メイン画面の「現在の求人」をクリックします。ボタンを押してレイアウトを変えます。

(図)



レイアウト変更が時間的に間に合わないときの処置

「わくちんのメニュー」のFileタブを開いて、Vac_WD_publicを開きます。(図)



例；クリニック情報ボタンを機能させなくする方法

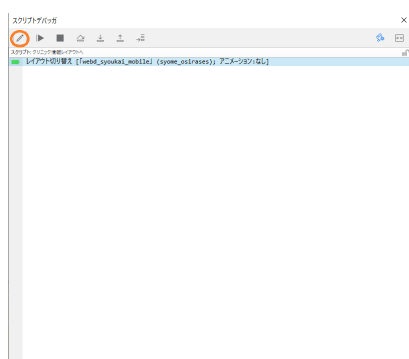
FileMakerメニューの、ツール>スクリプトデバック(図)でデバックを出します。(図)



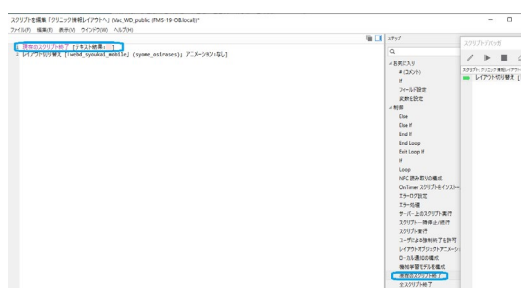
ステップインしてください。(図)



スクリプト編集ボタンでスクリプトワークスペースを出します。(図)



スクリプトの1行目に「現在のスクリプト終了」を加えるとクリニック情報ボタンは機能しなくなります。(図)



同様に現在の求人や進行状況にあわせて、クリニック情報を押した後のボタンも同様に編集が完了していないボタンは機能しないようにしてください。